

Data Projector

特約店様用設置説明書 3 ~ 10、46 ~ 61 ページ

この特約店様用設置説明書には、レンズの交換方法、別売りのレンズ使用時や天井吊りの場合の設置寸法など、製品の設置時に必要な情報を記載しています。

Installation Manual for Dealers Pages 3, 11 to 16 and 46 to 61

This installation Manual for Dealers explains how to install the projector. For example, it explains lens replacement, installation measurements when using the optional lens and hanging the projector from the ceiling.

Manuel d'installation pour les revendeurs Pages 3, 17 à 22 et 46 à 61

Le manuel d'installation pour les revendeurs explique comment installer le projecteur. Par exemple, il explique la procédure de remplacement de l'objectif, les dimensions d'installation lorsque vous employez l'objectif en option et comment suspendre le projecteur au plafond.

Manual de instalación para proveedores Páginas 3, 23 a 28 y 46 a 61

En este manual de instalación para proveedores se describe cómo instalar el proyector. Por ejemplo, se describe cómo sustituir el objetivo, las medidas de instalación cuando se utiliza el objetivo opcional y cómo colgar el proyector en el techo.

Installationsanleitung für Händler Seite 3, 29 bis 34 und 46 bis 61

In dieser Installationsanleitung für Händler wird erläutert, wie Sie den Projektor installieren. Beispielsweise werden das Austauschen des Objektivs, die Installationsabmessungen beim Verwenden des gesondert erhältlichen Objektivs und das Installieren des Projektors an der Decke beschrieben.

Manuale d'installazione per i rivenditori Pagina 3, 35 a 40 e 46 a 61

Il presente manuale contiene le istruzioni relative all'installazione del proiettore. Vengono riportate ad esempio le istruzioni su come sostituire l'obiettivo, le misure di installazione quando si utilizza l'obiettivo opzionale e le procedure dell'installazione al soffitto.

经销商用安装说明书 第3、41至45和62至69页

本说明书为经销商讲解投影机的安装方法。例如，更换透镜的方法、使用选购透镜和悬吊安装时的安装尺寸。

VPL-PX40/PX35

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4 (JP) ~ 5 (JP) ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください(有料)

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたりキャビネットを破損したときは



- ①電源を切る。
- ②電源コードや接続コードを抜く。
- ③お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに連絡する。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



破裂



高温

行為を禁止する記号



禁止

行為を指示する記号



アース線を
接続せよ



指示

目次

⚠ 警告	4
⚠ 注意	4
電池についての安全上のご注意	5
本機の性能を保持するために	6
概要	6
レンズ交換のしかた	7
リア投影(打ち込み角0°)時の レンズ位置の変更のしかた	8
設置寸法	46
床置き、フロント投影	46
天井つり、フロント投影	50
床置き、リア投影(打ち込み角0°)	56
寸法図	60

Índice

Precauciones	23
Introducción	24
Sustitución del objetivo	25
Cambio de la posición del objetivo para la proyección posterior (ángulo de eje óptico: 0 grados)	26
Diagrama de instalación	47
Instalación en el suelo (proyección frontal)	47
Instalación en el techo (proyección frontal)	51
Instalación en el suelo (proyección posterior: ángulo de eje óptico de 0 grados)	57
Dimensiones	60

目录

使用前须知	41
概要	42
更换透镜	42
改变用于后投影的透镜位置 (光轴角: 0度)	44
安装图	62
落地安装(前投影)	62
悬吊安装(前投影)	63
落地安装 (后投影: 光轴角0度)	66
外形尺寸	68

Table of Contents

Precautions	11
Overview	12
Replacing the Lens	13
Changing the Lens Position for Rear Projection (Optical Axis Angle: 0 degree)	14
Installation Diagram	46
Floor Installation (Front Projection)	46
Ceiling Installation (Front Projection)	50
Floor Installation (Rear Projection: Optical Axis Angle 0 Degree)	56
Dimensions	60

Inhalt

Sicherheitsmaßnahmen	29
Übersicht	30
Austauschen des Objektivs	31
Ändern der Objektivposition für Rückprojektion (Winkel der optischen Achse: 0 Grad)	32
Installationsdiagramm	47
Installation am Boden (Frontprojektion)	47
Installation an der Decke (Frontprojektion)	51
Installation am Boden (Rückprojektion: Winkel der optischen Achse = 0 Grad)	57
Abmessungen	60

Table des matières

Précautions	17
Aperçu	18
Remplacement de l'objectif	19
Changement de la position de l'objectif pour la rétroprojection (angle d'axe optique : 0 degré)	20
Schéma d'installation	46
Installation au sol (projection frontale)	46
Installation au plafond (projection frontale)	50
Installation au sol (Rétroprojection: angle d'axe optique de 0 degré)	56
Dimensions	60

Indice

Precauzioni	35
Presentazione	36
Sostituzione dell'obiettivo	37
Cambiamento di posizione dell'obiettivo per la proiezione posteriore (angolo di asse ottico: 0 gradi)	38
Diagramma di installazione	47
Installazione sul pavimento (proiezione frontale)	47
Installazione sul soffitto (proiezione frontale)	51
Installazione sul pavimento (proiezione posteriore: grado zero dell'angolo di asse ottico)	57
Dimensioni	60



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。

通風孔をふさぐような場所に設置しない



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 30cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。

天井への取り付けには細心の注意をはらう



注意

- 天井への取り付け強度が不十分だと、落下により死亡や大けがにつながることがあります。必ずソニー製のプロジェクターサスペンションサポート PSS-610 を使用してください。
- 取り付けを安全に行うために、本書、取扱説明書、および PSS-610 の取付説明書の注意事項をお読みください。
- 取り付けは、PSS-610 の取付説明書の手順に従い確実に行ってください。取り付けが不完全な場合、落下する可能性があります。また、取り付け時には手をすべらせてプロジェクターを落下させ、けがをすることのないようご注意ください。

不安定な場所に設置しない



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、地震などで倒れたり落ちたりしてけがの原因となります。また、設置・取り付け場所の強度を十分にお確かめください。

調整用工具を内部に入れない



禁止

調整中などに、工具を誤って内部に落とすと火災や感電の原因となることがあります。万一、落とした場合は、すぐに電源を切り、電源コードを抜いてください。

電源コードのプラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む



指示

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

容量の低い電源延長コードを使用しない



禁止

容量の低い延長コードを使うと、ショートしたり火災や感電の原因となることがあります。



下記の注意を守らないと、

けがをしたり周辺の商品に**損害**を与えることがあります。

運搬・移動はハンドルを持って慎重に



注意

- 運搬するときは、必ずハンドルを持ってください。他の部分を持つとプロジェクターが壊れたり、落としてけがをすることがあります。また、ハンドルと床や台の間に指を挟まないようご注意ください。
- 床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようご注意ください。
- キャビネットのカバーを開けたまま、電源を切らずに移動させないでください。感電の原因となることがあります。

アジャスター調整時、手を挟まないよう注意する



注意

アジャスターを回しすぎるとアジャスターがはずれ、手を挟むことがありますのでご注意ください。

コード類は正しく配置する



指示

電源コードや接続コードを足に引っかけると転倒したり、プロジェクターの落下によりけがの原因となることがあります。十分注意して接続・配置してください。

低い天井に天吊りしない



指示

頭などをぶつけてけがをすることがあります。

レンズをのぞかない



禁止

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、目に悪影響を与えるおそれがあります。

キャビネットのカバー類はしっかり固定する



指示

天吊りの場合、カバー類が固定されていないと落下して、けがの原因となることがあります。

安全アースを接続する



アース線を接続せよ

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。プラグから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子に接続してください。

不明な点はお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機での使用が可能なソニー製乾電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

電池の液が目に入ったら

➡️ すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。

煙が出たら

➡️ お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに連絡する。

電池の液が皮膚や衣服に付いたら

➡️ すぐにきれいな水で洗い流す。

バッテリー収納部内で液が漏れたら

➡️ よくふき取ってから、新しい電池を入れる。



警告

下記の注意事項を守らないと、**破裂・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。**



破裂

- 乾電池は充電しない。
- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 指定された種類の電池を使用する。



高温



注意

下記の注意事項を守らないと、**破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺の商品に損害を与えたりすることがあります。**



破裂

- 投げつけない。
- 使用推奨期限内（乾電池に記載）の乾電池を使用する。
- ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れる。
- 電池を入れたまま長期間放置しない。
- 新しい電池と使用した電池は混ぜて使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 水や海水につけたり濡らしたりしない。

本機の性能を保持するために

設置場所について

- 底面の吸気口および前面の排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、吸気口および排気口をふさがないように設置してください。
- 温度・湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所、ほこりの多い場所での使用は避けてください。
- 床置きおよび天井つり以外の設置でお使いになると、色むらやランプ寿命の劣化などの問題が起こることがありますので避けてください。

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。これらは液晶プロジェクターの構造によるもので故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。

- 集光型のダウンライトにする。
- 蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
- 太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
- 光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れについて

- キャビネットやパネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。なお、お手入れの際は必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
- レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。
- 定期的にフィルターのクリーニングをしてください。

結露について

プロジェクターの設置してある室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因となりますので冷暖房にご注意ください。結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約2時間放置しておいてください。

概要

この説明書は、ソニーデータプロジェクターVPL-PX40/PX35の設置に関する説明書です。レンズ交換のしかた、リア投影(打ち込み角0°)時のレンズ位置の変更のしかた、設置寸法等が記されています。レンズ交換やレンズ位置を変更する場合は、取扱説明書もあわせてよくお読みください。

レンズ交換のしかた

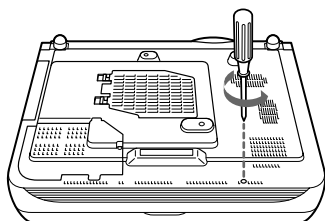
次の種類の別売りのレンズを取り付けることができます。

- ・長焦点ズームレンズVPLL-ZM102

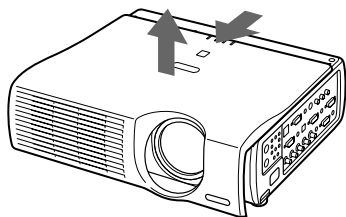
レンズを交換するときは、以下の手順で行ってください。

レンズを交換するときは、それぞれのレンズの取扱説明書もご覧ください。

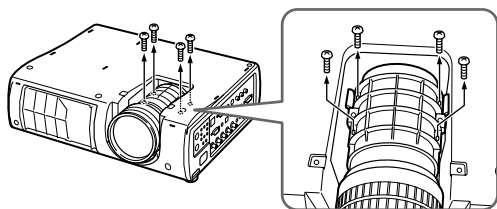
- 1 電源を切り、電源コードを抜く。
- 2 底面のネジをプラスドライバーではずす。
(長いネジ(M3)1本)



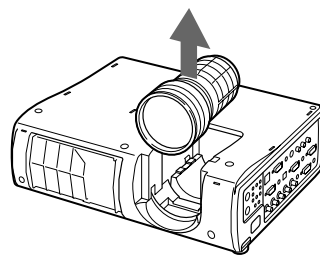
- 3 トップカバー(天面部レンズカバー)を前にスライドさせながら上方向にはずす。



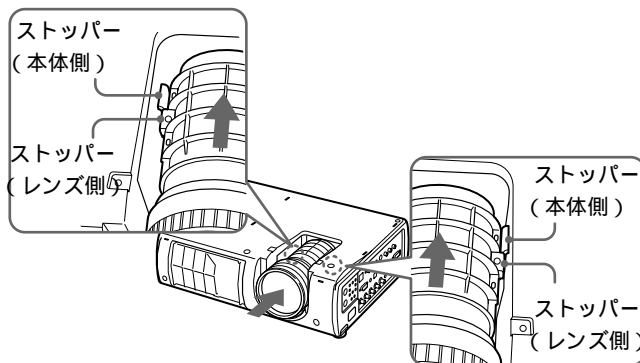
- 4 レンズを固定している4本(M3×10、ワッシャー付)のネジをはずす。



- 5 レンズを上を持ち上げてはずす。



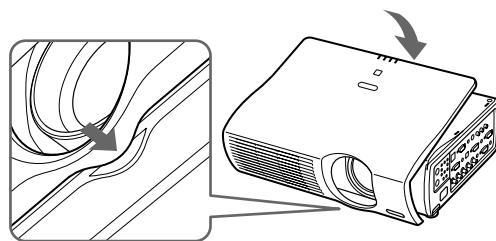
- 6 交換するレンズ側のストッパーをプロジェクター本体側のストッパーに押し当てる様にして位置を合わせ、レンズを組み込む。



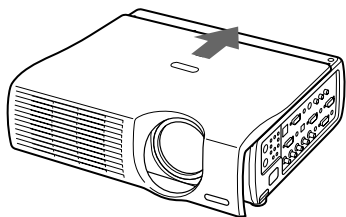
ご注意

レンズを組み込む際、レンズに取り付けられたストッパー(レンズ側)が上から見える向きにして取り付けてください。

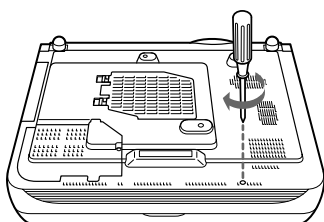
- 7 交換レンズを4本のネジ(M3×10、ワッシャー付)で締め付け、しっかりと固定する。
- 8 トップカバーのレンズ下突起部をベースの凹部に合わせてから(左下図参照)トップカバー側のツメ(6ヶ所)をプロジェクター本体のスリットにはめ込む。



9 トップカバーを後側へつき当るまでスライドさせる。



10 底面にネジ(長いネジ(M3)1本)を締め付ける。



レンズ交換の際のご注意

- 取りはずしたレンズまたは取り付けるレンズを置くときは、しっかりした水平な台の上に静かに置いてください。レンズ面は傷つきやすいので取り扱いには充分注意してください。
- レンズ面には手を触れないようにしてください。

リア投影(打ち込み角0°)時のレンズ位置の変更のしかた

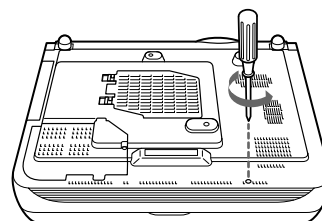
リア投影などの場合、打ち込み角を0°にすることができます。この場合、レンズ位置を変更する必要があります。次の手順で、変更してください。

打ち込み角を0°にする場合、取り付けられるレンズは以下の通りです。

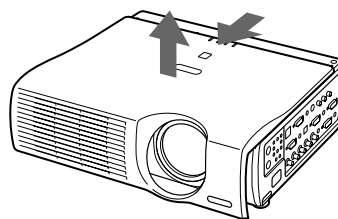
- 標準レンズ
- 長焦点ズームレンズVPLL-ZM102
- 短焦点固定レンズVPLL-FM22

1 電源を切り、電源コードを抜く。

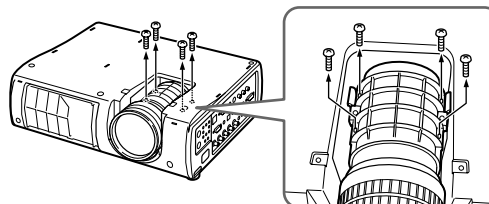
2 底面のネジをプラスドライバーではずす。
(長いネジ(M3)1本)



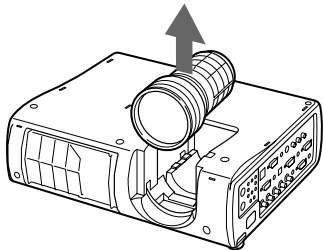
3 トップカバー(天面部レンズカバー)を前にスライドさせながら上方向にはずす。



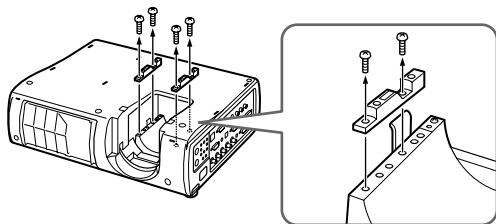
4 レンズを固定している4本(M3×10、ワッシャー付)のネジをプラスドライバーではずす。



5 レンズを上を持ち上げてはまず。



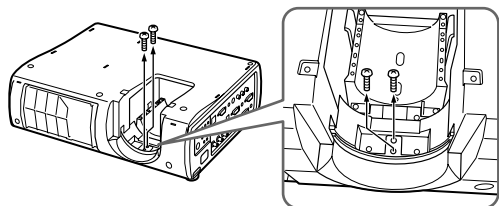
6 図示した左右のスペーサーの4本 (M3×6、黒色) のネジをプラスドライバーではまずし、取り除く。



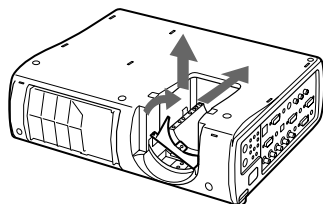
ご注意

ここでははずしたスペーサーとネジは後日必要となる場合がありますので大切に保管しておいてください。

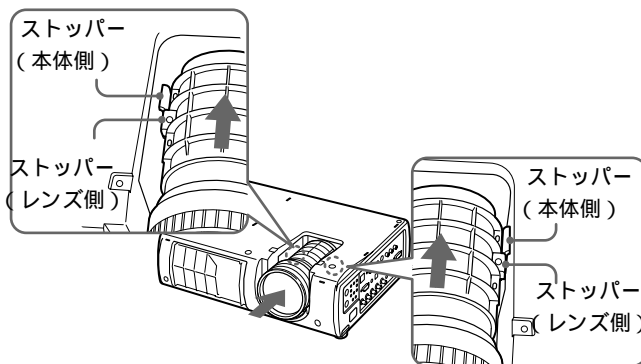
7 図の部分から2本のネジ (M3×8、銀色) をはずし、レンズボトムカバーを取りはずす。



8 レンズボトムカバーの左側を持ち上げて傾け、そのまま右側に寄せて、その状態のまま右上方向に取り外す。



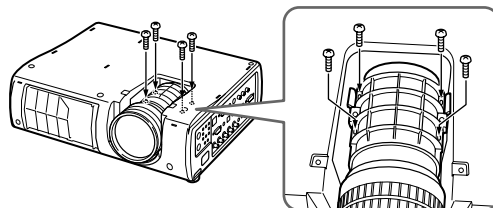
9 レンズ側のストッパーを Projektor 本体側のストッパーに押し当てるようにして位置を合わせ、レンズを組み込む。



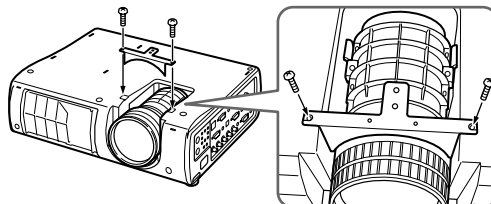
ご注意

・レンズを組み込む際、レンズのストッパーが上から見えるようにしてください。

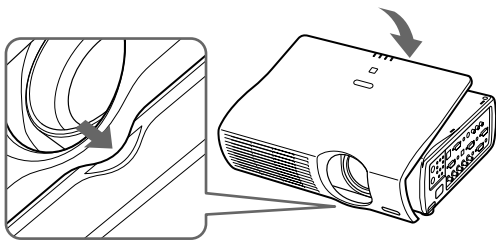
10 4本のネジ (M3×10、ワッシャー付) をプラスドライバーで締め付け、レンズをしっかりと固定する。



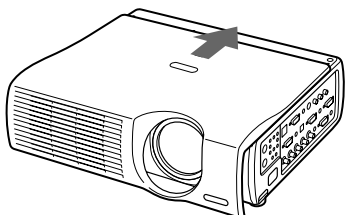
11 はずしたレンズボトムカバーを、レンズの上に図示向きに2本のネジ (M3×8、銀色) で取り付ける。



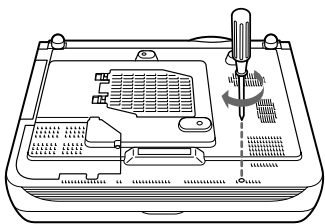
- 12** トップカバーのレンズ下突起部をベースの凹部に合わせてから(左下図参照)トップカバー側のツメ(6ヶ所)をプロジェクター本体のスリットにはめ込む。



- 13** トップカバーを後側につき当るまでスライドさせる。



- 14** 底面にネジ(長いネジ(M3)1本)を締め付ける。



Precautions

On safety

- Check that the operating voltage of your unit is identical with the voltage of your local power supply. If voltage adaptation is required, consult with qualified Sony personnel.
- Should any liquid or solid object fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified Sony personnel before operating it further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days.
- To disconnect the cord, pull it out by the plug. Never pull the cord itself.
- The wall outlet should be near the unit and easily accessible.
- The unit is not disconnected from the AC power source (mains) as long as it is connected to the wall outlet, even if the unit itself has been turned off.
- Do not look into the lens while the lamp is on.
- Do not place your hand or objects near the ventilation holes — the air coming out is hot.
- Avoid using an extension cord with a low voltage limited since it may cause the short-circuit and physical incidents.
- To carry the projector, be sure to use the carrying handle. Do not hold other parts of the projector, especially the lens, nor catch your finger between the handle, floor, and the projector.
- Do not catch your finger between the unit and surface of the floor when moving the projector installed on the floor.
- Be careful not to catch your finger in the cooling fan.
- Do not carry the projector with the cabinet on and with its cover open.

On installation

- When the projector is mounted on the ceiling, the Sony PSS-610 Projector Suspension Support must be used for installation.
- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes. Leave space of more than 30 cm (11 ⁷/₈ inches) between the wall and the projector. Be aware that room heat rises to the ceiling; check that the temperature near the installation location is not excessive.

- Install the projector on the floor or ceiling. Any other installation causes a malfunction such as color irregularity or shortening lamp life.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust or humidity, mechanical vibration or shock.
- To avoid moisture condensation, do not install the unit in a location where the temperature may rise rapidly.
- Be sure to secure the cabinet cover firmly when installing to the ceiling firmly.

On illumination

- To obtain the best picture, the front of the screen should not be exposed to direct lighting or sunlight.
- Ceiling-mounted spot lighting is recommended. Use a cover over fluorescent lamps to avoid lowering the contrast ratio.
- Cover any windows that face the screen with opaque draperies.
- It is desirable to install the projector in a room where floor and walls are not of light-reflecting material. If the floor and walls are of reflecting material, it is recommended that the carpet and wall paper be changed to a dark color.

On preventing internal heat build-up

- After you turn off the power with the I / ⏻ key on the control panel or on the Remote Commander, do not disconnect the unit from the wall outlet while the cooling fan is still running.
- Do not disconnect the AC power cord from the wall outlet while the fan is still running.

Caution

The projector is equipped with ventilation holes (intake) at the bottom and ventilation holes (exhaust) at the front. Do not block or place anything near these holes, or internal heat build-up may occur, causing picture degradation or damage to the projector.

On cleaning

- To keep the cabinet looking new, periodically clean it with a soft cloth. Stubborn stains may be removed with a cloth lightly dampened with a mild detergent solution. Never use strong solvents, such as thinner, benzene, or abrasive cleansers, since these will damage the cabinet.
- Avoid touching the lens. To remove dust on the lens, use a soft dry cloth. Do not use a damp cloth, detergent solution, or thinner.
- Clean the filter at regular intervals.

On repacking

- Save the original shipping carton and packing material; they will come in handy if you ever have to ship your unit. For maximum protection, repack your unit as it was originally packed at the factory.

Overview

This manual describes how to install the Sony Data Projector VPL-PX40/PX35, how to replace the lens, how to change the lens position for rear projection (optical axis angle: 0 degree), and installation diagrams. When you replace the lens or change the lens position, also refer to the Operating Instructions.

Replacing the Lens

You can install the following two types of lenses in the projector.

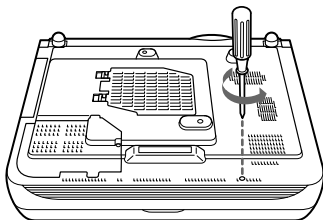
- VPLL-ZM102 Long Focus Zoom Lens

Follow the steps below to replace the lens.

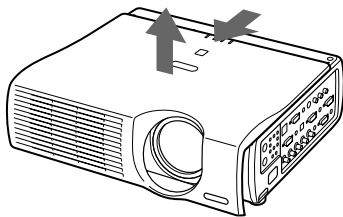
For details on replacing the lens, also refer to the installation manual supplied with the lens.

- 1 Turn off the power and disconnect the power cable.

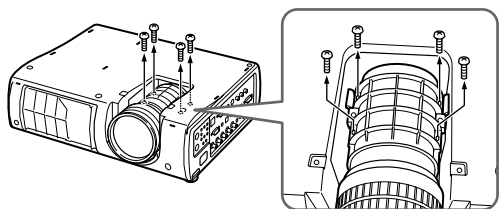
- 2 Remove the screw from the bottom of the unit by using a Philips screwdriver. (single long screw (M3))



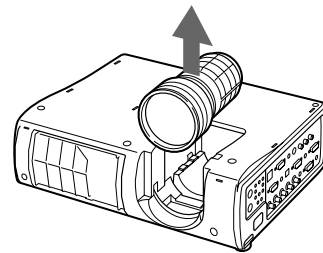
- 3 Slide the top cover (top lens cover) forward, and then lift it up to remove.



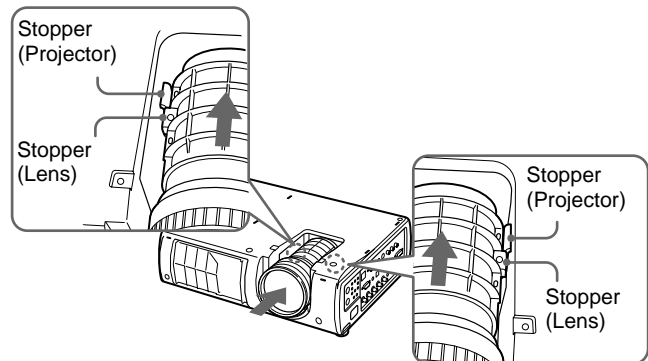
- 4 Remove the four screws (M3×10, with washers) locking the lens.



- 5 Lift and remove the lens.



- 6 Align the positions so that the stopper for the new lens is in contact with the stopper of the projector unit, and then attach the lens.

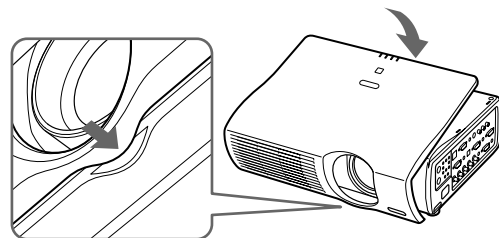


Note

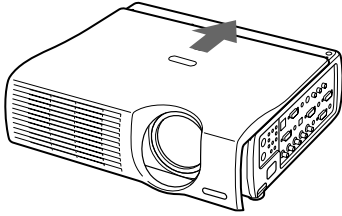
When attaching the lens, mount the stopper (lens side) attached to the lens so that it is visible from the top.

- 7 Secure the replacement lens in place with four screws (M3×10, with washers).

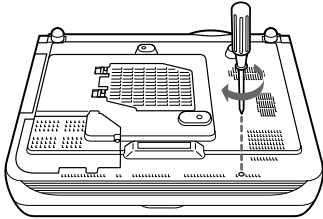
- 8 Line up the bump under the lens on the top cover with the depression in the base (refer to the diagram below), and then insert the six tabs on the sides of the top cover into the slits on the projector.



- 9** Slide the top cover back until it makes contact with the rear side.



- 10** Tighten the screw (single long screw (M3)) in the bottom base.



Note

- The lens scratches easily, so when handling it, always place it gently on a stable and level surface in a horizontal position.
- Avoid touching the lens surface.

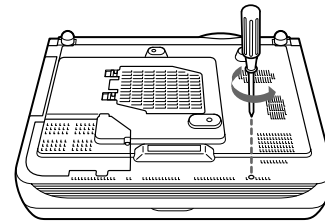
Changing the Lens Position for Rear Projection (Optical Axis Angle: 0 degree)

For rear projection, you can set the optical axis angle to 0 (zero). In this case, you will need to set the lens position as follows.

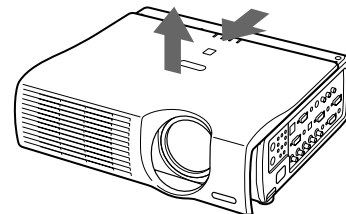
You can install the following types of lenses for a zero optical axis angle.

- Standard lens
- VPLL-ZM102 Long Focus Zoom Lens
- VPLL-FM22 Fixed Short Focus Lens

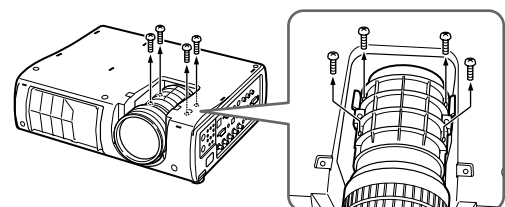
- 1** Turn off the power and disconnect the power cable.
- 2** Remove the screw from the bottom of the unit by using a Philips screwdriver .
(single long screw (M3))



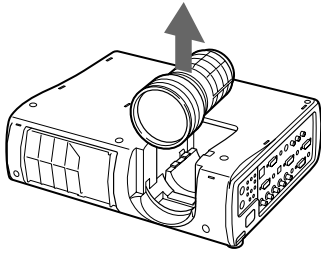
- 3** Slide the top cover (top lens cover) forward, and then lift it up to remove.



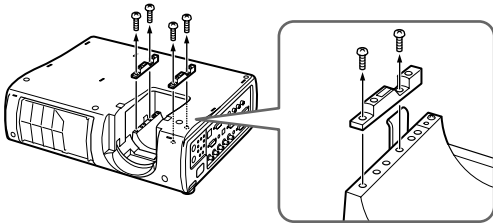
- 4** Remove the lens hood locking the lens by loosening the four screws (M3×10, with washers) with a Philips screwdriver.



- 5** Lift and remove the lens.



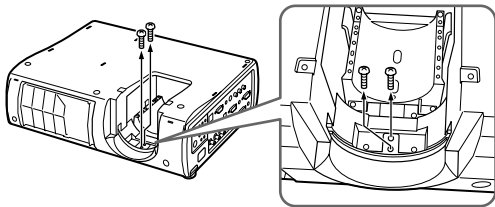
- 6** Using a Philips screwdriver, remove the four screws (M3×6, black) holding the left and right spacers as shown in the diagram, and then remove the spacers.



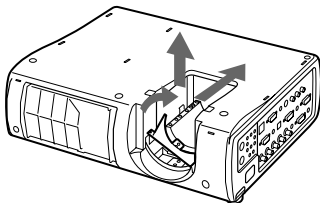
Note

The spacer and the screws may be needed later on. Store them.

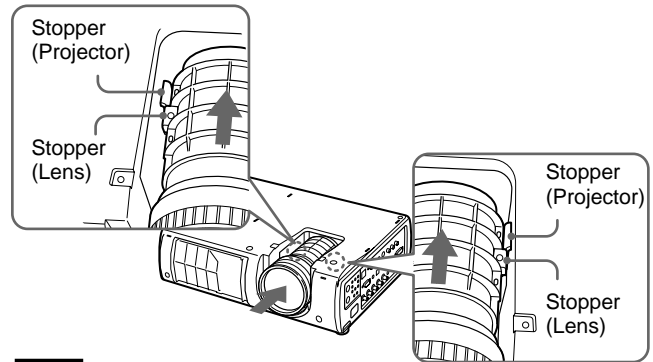
- 7** Remove the two screws (M3×8, silver) from the section in the figure, and then remove the lens bottom cover.



- 8** Lift up and tilt the left side of the lens bottom cover, bring it toward the right side, and then remove it in the right upward direction while keeping it tilted.



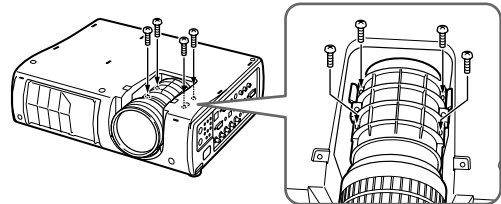
- 9** Align the positions so that the stopper for the lens is in contact with the stopper of the projector unit, and then attach the lens.



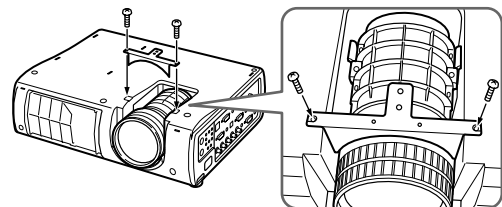
Note

For ease in identification when you install the lens, make sure that the lens stopper is facing up.

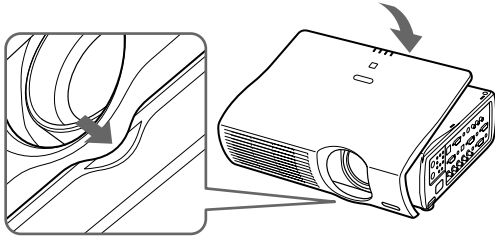
- 10** Using a Philips screwdriver, tighten the four screws (M3×10, with washers) that secure the lens in place.



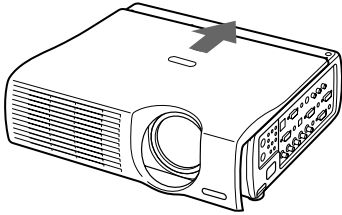
- 11** Use the two screws (M3×8, silver) to mount the removed lens bottom cover over the lens in the orientation shown in the figure below.



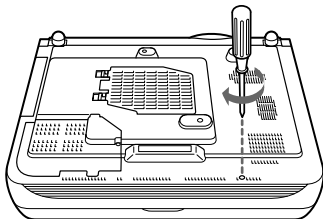
- 12** Line up the bump under the lens on the top cover with the depression in the base (refer to the diagram below), and then insert the six tabs on the sides of the top cover into the slits on the projector.



- 13** Slide the top cover back until it makes contact with the rear side.



- 14** Tighten the screw (single long screw (M3)) in the bottom base.



Précautions

Sécurité

- Vérifiez si la tension de service de votre appareil est identique à la tension secteur locale. Si une adaptation de la tension s'avère nécessaire, consultez votre revendeur Sony ou un personnel qualifié.
- Si des liquides ou des solides pénètrent dans le châssis, débranchez l'appareil et faites-le vérifier par un personnel Sony qualifié avant de le remettre en service.
- Débranchez l'appareil de la prise murale si vous prévoyez de ne pas l'utiliser pendant plusieurs jours.
- Pour débrancher le cordon, saisissez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon proprement dit.
- La prise d'alimentation doit se trouver à proximité du moniteur et être aisément accessible.
- Cet appareil n'est pas déconnecté de la source d'alimentation (secteur) aussi longtemps qu'il reste branché sur la prise murale, même si l'appareil proprement dit a été mis hors tension.
- Ne regardez pas dans l'objectif lorsque la lampe est allumée.
- Ne placez pas les mains ou des objets à proximité des orifices de ventilation — l'air expulsé est chaud.
- Évitez d'utiliser une rallonge affichant une tension basse limitée car cela pourrait provoquer un court-circuit et des accidents physiques.
- Pour transporter le projecteur, veillez à utiliser la poignée de transport. Ne saisissez pas d'autres parties du projecteur – surtout pas l'objectif – et ne vous coincez pas les doigts sous la poignée, le plancher et le projecteur.
- Ne vous coincez pas les doigts entre l'appareil et le sol lorsque vous déplacez le projecteur installé au sol.
- Veillez à ne pas vous coincer les doigts dans le ventilateur.
- Ne transportez pas le projecteur par le châssis installé et avec le couvercle ouvert.


Installation

- Si vous installez le projecteur au plafond, vous devez utiliser le support de suspension pour projecteur Sony PSS-610.
- Assurez une circulation d'air adéquate afin d'éviter toute surchauffe interne. Ne placez pas l'appareil sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de tissus (rideaux, draperies) qui risquent d'obstruer les orifices de ventilation. Laissez un espace d'au moins 30 cm (11 ⁷/₈ pouces) entre le mur et le projecteur. N'oubliez pas que la chaleur dans une pièce monte; vérifiez donc si la température au niveau du lieu d'installation n'est pas excessive.
- Installez le projecteur au sol ou au plafond. Toute autre installation provoquera un dysfonctionnement (irrégularité des couleurs ou réduction de la durée de vie de la lampe).
- N'installez pas l'appareil à proximité de sources de chaleur telles que des radiateurs ou des conduits d'air chaud et ne l'exposez pas au rayonnement direct du soleil, à de la poussière ou à de l'humidité en excès, ni à des vibrations mécaniques ou à des chocs.
- Pour éviter la condensation d'humidité, n'installez pas l'appareil là où la température risque d'augmenter rapidement.
- Veillez à fixer le couvercle du châssis convenablement lorsque vous l'installez au plafond.

Eclairage

- Pour obtenir la meilleure qualité d'image possible, l'avant de l'écran ne doit pas être directement exposé à la source d'éclairage ni au rayonnement solaire.
- Nous préconisons un éclairage au moyen de spots fixés au plafond. Placez un écran sur les lampes fluorescentes de façon à éviter une altération du niveau de contraste.
- Occultez les fenêtres qui font face à l'écran au moyen de draperies opaques.
- Il est préférable d'installer le projecteur dans une pièce où le sol et les murs ne sont pas revêtus d'un matériau réfléchissant la lumière. Si le sol et les murs réfléchissent la lumière, nous vous conseillons de remplacer le revêtement du sol et des murs par une couleur sombre.

Comment éviter l'accumulation de chaleur à l'intérieur du projecteur

- Après avoir mis l'appareil hors tension à l'aide de la touche I /  du panneau de commande ou de la télécommande, ne déconnectez pas l'appareil de la prise murale tant que le ventilateur de refroidissement fonctionne.
- Ne débranchez pas le cordon d'alimentation de la prise murale aussi longtemps que le ventilateur tourne.

Attention

Le projecteur est équipé d'orifices de ventilation (prise d'air) sur le dessous et d'orifices de ventilation (sortie d'air) à l'avant. N'obstruez pas et ne placez rien à proximité de ces orifices, faute de quoi vous risquez de provoquer une surchauffe interne susceptible d'entraîner une altération de l'image et une détérioration du projecteur.

Entretien

- Pour conserver au châssis l'éclat du neuf, nettoyez-le régulièrement à l'aide d'un chiffon doux. Les taches tenaces s'éliminent en frottant avec un chiffon doux légèrement imprégné d'une solution détergente douce. N'utilisez en aucun cas des solvants puissants tels que du diluant ou du benzène ni de nettoyants abrasifs qui risqueraient d'altérer le fini du châssis.
- Ne touchez pas l'objectif. Pour éliminer la poussière de l'objectif, utilisez un chiffon doux et sec. N'utilisez pas de chiffon humide, de solution détergente ni de diluant.
- Nettoyez l'objectif à intervalles réguliers.

Remballage

- Conservez le carton d'emballage et les matériaux de conditionnement, car ils constituent une protection idéale en vue du transport de l'appareil. Pour une protection maximale, remballer votre appareil comme il a été emballé à l'origine en usine.

Aperçu

Le présent mode d'emploi décrit comment installer les projecteurs de données Sony VPL-PX40/PX35, comment remplacer l'objectif, comment changer la position de l'objectif pour la rétroprojection (angle d'axe optique: 0 degré) et comporte également des plans d'installation. Lors du remplacement de l'objectif ou de la modification de la position de l'objectif, reportez-vous également au mode d'emploi.

Remplacement de l'objectif

Vous pouvez installer les deux types d'objectifs suivants sur le projecteur :

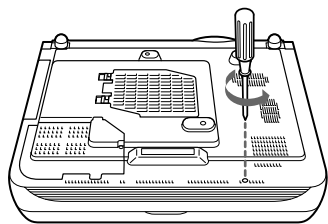
- Zoom à focale longue VPLL-ZM102

Pour remplacer l'objectif, procédez comme suit.

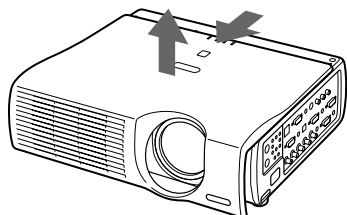
Pour plus de détails sur le remplacement de l'objectif, consultez également le manuel d'installation fourni avec l'objectif.

- 1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation.

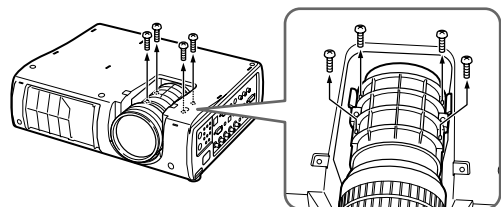
- 2 Retirez la vis du dessous du projecteur à l'aide d'un tournevis cruciforme (longue vis unique (M3)).



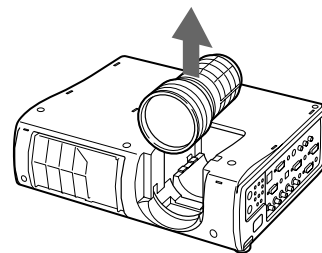
- 3 Faites coulisser le couvercle supérieur (couvercle supérieur de l'objectif) en avant, puis retirez-le en le soulevant.



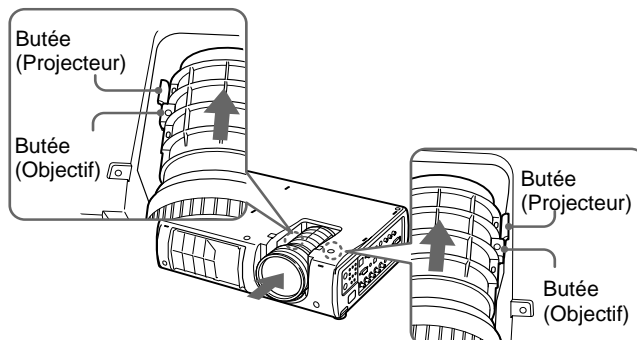
- 4 Retirez les quatre vis (M3×10, avec rondelles) de maintien de l'objectif.



- 5 Retirez l'objectif en le soulevant.



- 6 Alignez les positions de façon que la butée du nouvel objectif soit en contact avec la butée du projecteur, puis montez l'objectif.

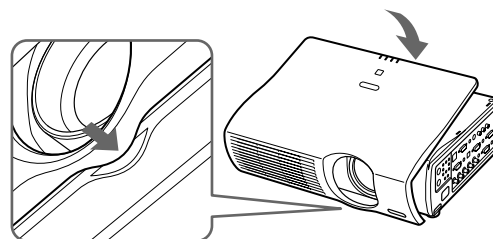


Remarque

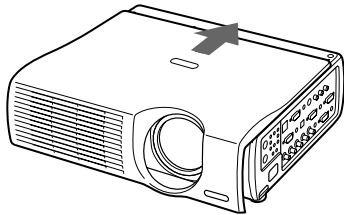
Lorsque vous installez l'objectif, tournez sa butée (côté objectif) de façon qu'elle soit visible du haut.

- 7 Fixez le nouvel objectif en place avec quatre vis (M3×10, avec rondelles).

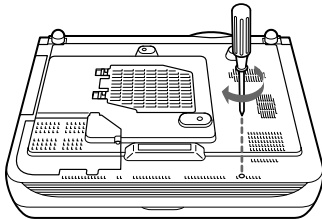
- 8 Alignez la bosse du couvercle supérieur située sous l'objectif sur le creux du socle (voir le schéma ci-dessous), puis insérez les six languettes situées sur les côtés du couvercle supérieur dans les fentes du projecteur.



- 9** Faites coulisser le couvercle supérieur en arrière jusqu'à ce qu'il touche le côté arrière.



- 10** Serrez la vis (longue vis unique (M3)) dans le socle inférieur.



Remarques

- L'objectif se raye facilement. Manipulez-le avec précautions et placez-le toujours délicatement à l'horizontale sur une surface stable et plane.
- Évitez de toucher la surface de l'objectif.

Changement de la position de l'objectif pour la rétroprojection (angle d'axe optique : 0 degré)

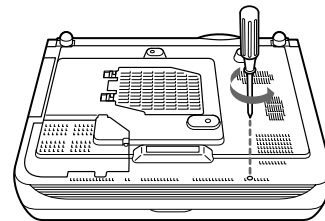
En rétroprojection, vous pouvez régler l'angle d'axe optique sur 0 (zéro). Vous devez alors changer la position de l'objectif de la façon suivante.

Pour un angle d'axe optique zéro, vous pouvez installer les types d'objectifs suivants :

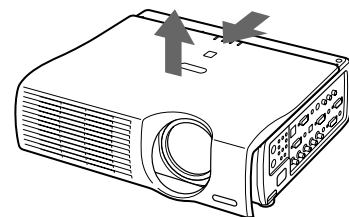
- Objectif standard
- Zoom à focale longue VPLL-ZM102
- Zoom à focale courte fixe VPLL-FM22

- 1** Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation.

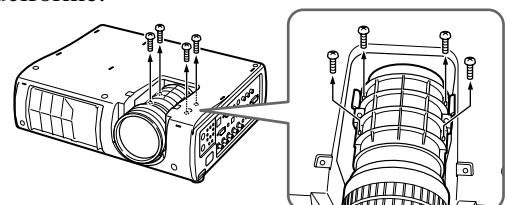
- 2** Retirez la vis du dessous du projecteur à l'aide d'un tournevis cruciforme (longue vis unique (M3)).



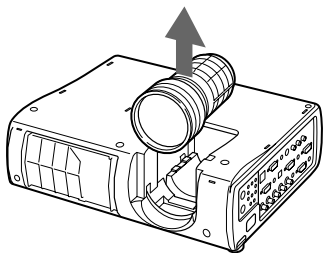
- 3** Faites coulisser le couvercle supérieur (couvercle supérieur de l'objectif) en avant, puis retirez-le en le soulevant.



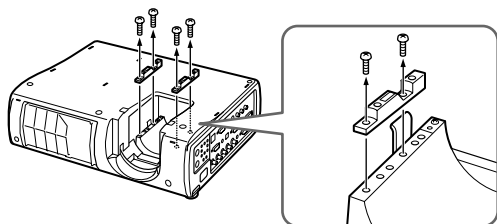
- 4** Retirez la protection de l'objectif maintenant l'objectif en desserrant les quatre vis (M3x10, avec rondelles) à l'aide d'un tournevis cruciforme.



- 5** Retirez l'objectif en le soulevant.



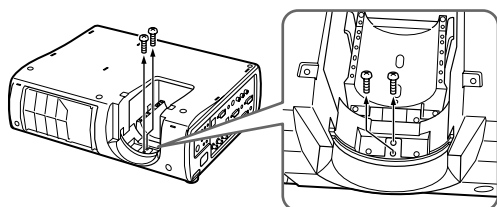
- 6** Ôtez les quatre vis (M3×6, noires) maintenant les entretoises gauche et droite, comme indiqué sur le schéma, à l'aide d'un tournevis cruciforme, puis retirez les entretoises.



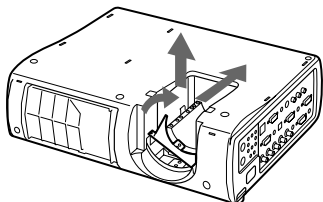
Remarque

Les entretoises et vis pourront resservir ultérieurement. Conservez-les.

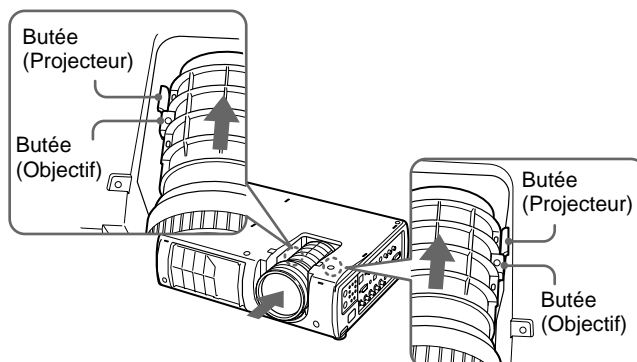
- 7** Retirez les deux vis (M3×8, argent) de la partie indiquée sur la figure, puis enlevez le couvercle inférieur de l'objectif.



- 8** Soulevez et inclinez le bord gauche du couvercle inférieur de l'objectif, poussez-le vers la droite, puis tirez-le vers le haut et la droite en le maintenant incliné.



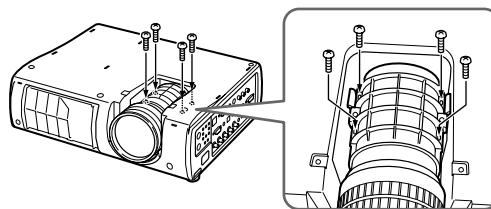
- 9** Alignez les positions de façon que la butée du objectif soit en contact avec la butée du projecteur, puis montez l'objectif.



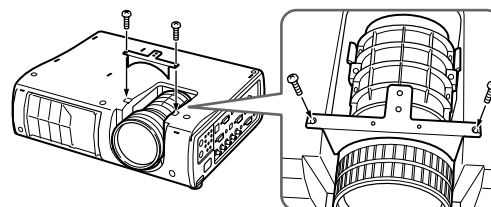
Remarque

Pour faciliter l'identification de l'objectif, installez l'objectif avec sa butée vers le haut.

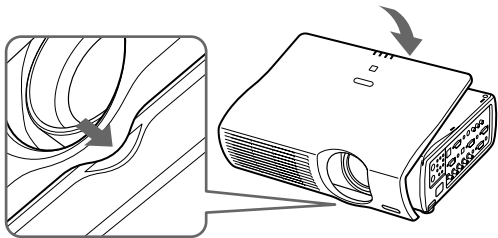
- 10** Serrez les quatre vis (M3×10, avec rondelles) fixant l'objectif en place à l'aide d'un tournevis cruciforme.



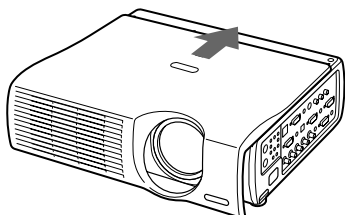
- 11** Remettez le couvercle inférieur de l'objectif en place dans le sens indiqué sur la figure ci-dessous à l'aide des deux vis (M3×8, argent).



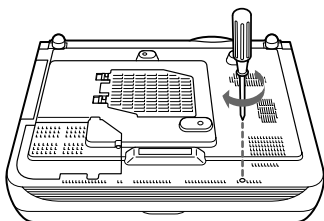
- 12** Alignez la bosse du couvercle supérieur située sous l'objectif sur le creux du socle (voir le schéma ci-dessous), puis insérez les six languettes situées sur les côtés du couvercle supérieur dans les fentes du projecteur.



- 13** Faites coulisser le couvercle supérieur en arrière jusqu'à ce qu'il touche le côté arrière.



- 14** Serrez la vis (longue vis unique (M3)) dans le socle inférieur.



Precauciones

Seguridad

- Asegúrese de que la tensión de funcionamiento de la unidad coincide con la del suministro eléctrico local. Si es necesario adaptar la tensión, consulte con personal Sony especializado.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea examinada por personal Sony especializado antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma de red si no va a utilizarla durante varios días.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe, nunca del propio cable.
- La toma de red debe estar situada cerca de la unidad y ser de fácil acceso.
- La unidad no estará desconectada de la fuente de alimentación de CA (toma de corriente) mientras esté conectada a la toma de red, aunque la haya apagado.
- No mire al objetivo mientras la lámpara esté encendida.
- No acerque la mano ni objetos a los orificios de ventilación, ya que el aire que sale es caliente.
- Evite el uso de cables prolongadores de baja tensión limitada, ya que pueden producirse cortocircuitos y daños físicos.
- Para transportar el proyector, asegúrese de utilizar el asa de transporte. No agarre otras partes de la unidad, especialmente el objetivo, y tenga cuidado de no pillarse los dedos entre el asa, el suelo y el proyector.
- Tenga cuidado de no pillarse los dedos entre la unidad y el suelo cuando mueva el proyector instalado en el suelo.
- Tenga cuidado de no pillarse los dedos con el ventilador de enfriamiento.
- No transporte el proyector con la cubierta puesta ni abierta.


Instalación

- Si instala el proyector en el techo, debe emplearse el soporte de suspensión para proyector PSS-610 de Sony.
- Con el fin de evitar el recalentamiento interno de la unidad, permita que ésta reciba una ventilación adecuada. No sitúe la unidad sobre superficies (mantas, alfombras, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices) que puedan bloquear los orificios de ventilación. Deje un espacio superior a 30 cm (1 7/8 pulgadas) entre la pared y el proyector. Tenga en cuenta que el calor del ambiente se eleva hacia el techo (compruebe que la temperatura en el lugar de instalación no sea excesiva).
- Instale el proyector en el suelo o en el techo. Cualquier otro tipo de instalación provocará fallos de funcionamiento, como irregularidades del color o la reducción de la vida útil de la lámpara.
- No instale la unidad en lugares próximos a fuentes térmicas, como radiadores o conductos de aire caliente, ni en lugares expuestos a la luz solar directa, polvo excesivo o humedad, ni vibraciones o golpes mecánicos.
- Para evitar la condensación de humedad, no instale la unidad en lugares donde la temperatura pueda aumentar rápidamente.
- Asegúrese de fijar firmemente la cubierta al realizar la instalación en el techo.

Iluminación

- Para obtener la mejor calidad de imagen posible, no exponga la parte frontal de la pantalla a iluminación o luz solar directas.
- Se recomienda instalar una lámpara proyectora en el techo. Cubra las lámparas fluorescentes para evitar la disminución de la relación de contraste.
- Cubra con telas opacas las ventanas que estén orientadas hacia la pantalla.
- Es preferible instalar el proyector en una sala cuyo suelo y paredes no se compongan de materiales que reflejen la luz. Si el suelo y las paredes se componen de dicho tipo de materiales, se recomienda cambiar el color de la alfombra y del papel pintado de la pared por otro oscuro.

Prevención del recalentamiento interno

- Tras desactivar la alimentación con la tecla I /  del panel de control o del mando a distancia, no desconecte la unidad de la toma de red hasta que se detenga el ventilador de enfriamiento.
- No desconecte el cable de alimentación de CA de la toma de red mientras sigue funcionando el ventilador.

Precaución

El proyector va equipado con orificios de ventilación de aspiración en la parte inferior y de exhaustación en la parte frontal. No bloquee estos orificios ni coloque nada cerca de los mismos, ya que puede producirse recalentamiento interno, causando deterioro de la imagen o daños al proyector.

Limpieza

- Para mantener el exterior de la unidad nuevo, límpielo periódicamente con un paño suave. Para eliminar las manchas persistentes, utilice un paño ligeramente humedecido con una solución detergente poco concentrada. No emplee nunca disolventes concentrados, como diluyentes, bencina o productos de limpieza abrasivos, ya que pueden dañar el acabado.
- Evite tocar el objetivo. Para eliminar el polvo de éste, emplee un paño seco y suave. No utilice un paño húmedo, soluciones detergentes ni diluyentes.
- Limpie el filtro con regularidad.

Embalaje

- Conserve la caja original de embalaje, ya que le resultará útil cuando vaya a transportar la unidad. Para obtener la máxima protección posible, embale la unidad como la recibió de fábrica.

Introducción

En este manual se describen los procedimientos para instalar el proyector de datos de Sony, modelos VPL-PX40/PX35, sustituir el objetivo y cambiar la posición del objetivo para la proyección posterior (ángulo de eje óptico de 0 grados) y se ofrecen diagramas de instalación. Al sustituir el objetivo o cambiar su posición, consulte las instrucciones de uso.

Sustitución del objetivo

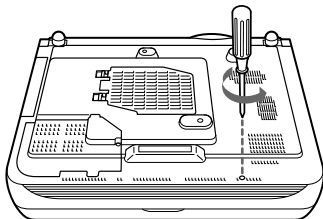
Es posible instalar estos dos tipos de objetivo en el proyector.

- Objetivo zoom de enfoque largo VPLL-ZM102

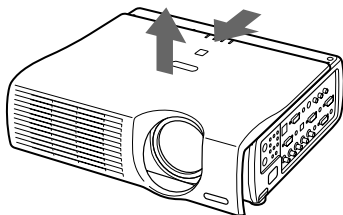
Siga estos pasos para sustituir el objetivo.

Para obtener información más detallada sobre cómo sustituir el objetivo, también puede consultar el manual de instalación suministrado con el objetivo.

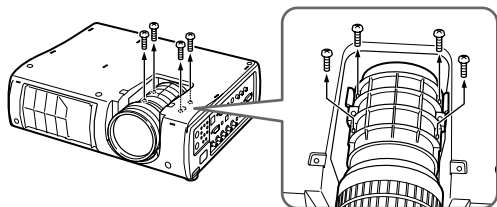
- 1** Apague la unidad y desconecte el cable de alimentación.
- 2** Extraiga el tornillo de la parte inferior de la unidad con un destornillador Philips. (un único tornillo largo (M3))



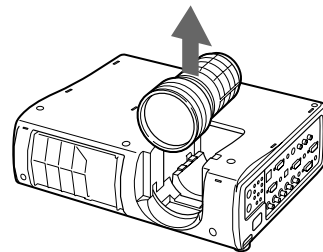
- 3** Deslice la cubierta superior (cubierta superior del objetivo) hacia delante, y después levántela para quitarla.



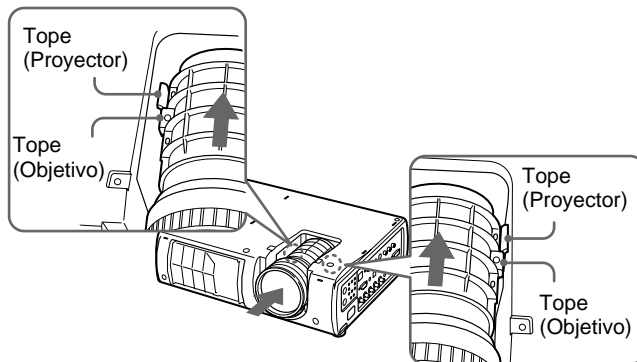
- 4** Extraiga los cuatro tornillos (M3×10, con arandelas) que fijan el objetivo.



- 5** Levante y quite el objetivo.



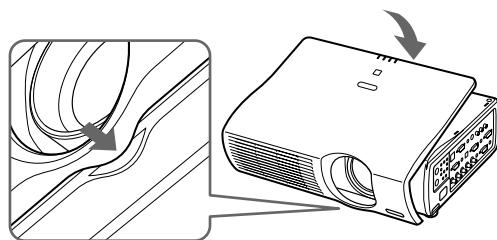
- 6** Alinee las posiciones de forma que se toquen los topes del nuevo objetivo y de la unidad del proyector, y a continuación coloque el objetivo.



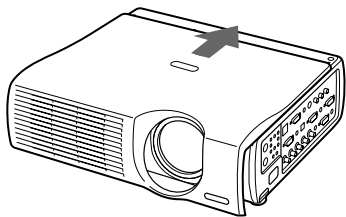
Nota

Al colocar el objetivo, monte el tope (lado del objetivo) colocado en el objetivo de forma que sea visible desde arriba.

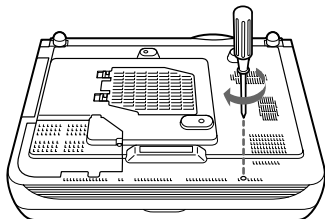
- 7** Sujete la lente de reemplazo en su sitio con cuatro tornillos (M3×10, con arandelas).
- 8** Alinee la protuberancia de debajo de la lente de la cubierta superior con la depresión de la base (consulte el diagrama de abajo), y después inserte las seis lengüetas de los lados de la cubierta superior en las hendiduras del proyector.



- 9** Vuelva a poner la cubierta superior deslizándola hasta que toque contra el lado posterior.



- 10** Apriete el tornillo (un único tornillo largo(M3)) de la parte inferior de la unidad.



Notas

- El objetivo se raya fácilmente. Por tanto, al manipularlo es conveniente colocarlo suavemente sobre una superficie estable y nivelada en posición horizontal.
- Procure no tocar la superficie del objetivo.

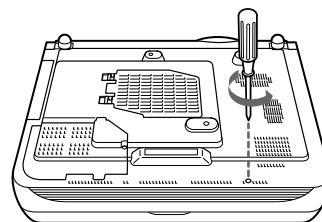
Cambio de la posición del objetivo para la proyección posterior (ángulo de eje óptico: 0 grados)

Para la proyección posterior, puede ajustar el ángulo de eje óptico en 0 (cero). En este caso, es necesario ajustar la posición del objetivo tal como se describe a continuación.

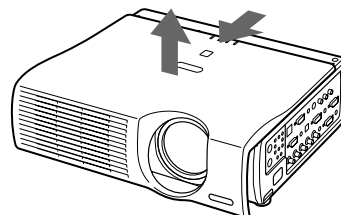
Es posible instalar los siguientes tipos de objetivo para un ángulo de eje óptico de cero:

- Objetivo estándar
- Objetivo zoom de enfoque largo VPLL-ZM102
- Objetivo zoom de enfoque corto VPLL-FM22

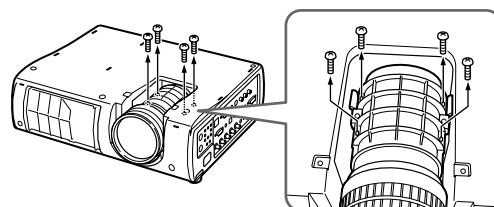
- 1** Apague la unidad y desconecte el cable de alimentación.
- 2** Extraiga el tornillo de la parte inferior de la unidad con un destornillador Philips. (un único tornillo largo (M3))



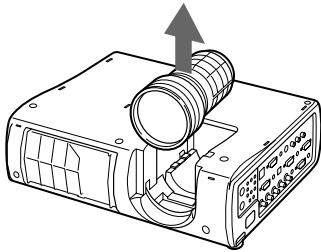
- 3** Deslice la cubierta superior (cubierta superior del objetivo) hacia delante, y después levántela para quitarla.



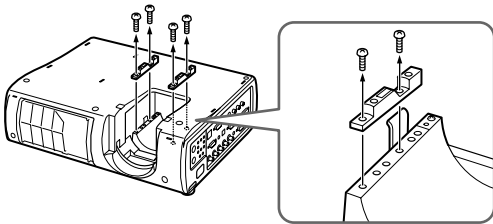
- 4** Quite la cubierta que sujeta el objetivo. Para ello, afloje los cuatro tornillos (M3×10, con arandelas) con un destornillados Philips.



5 Levante y extraiga el objetivo.



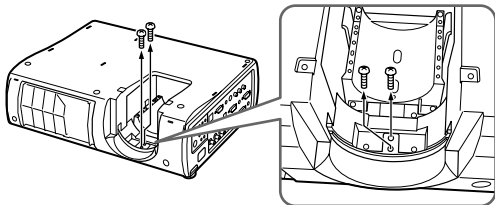
6 Utilizando un destornillador Philips, quite los cuatro tornillos (M3×6, negros) sujetando los espaciadores izquierdo y derecho como se muestra en el diagrama, y después quite los espaciadores.



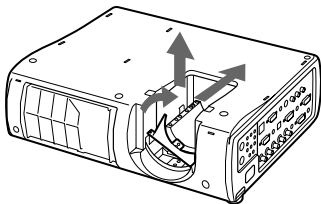
Nota

Es posible que necesite el espaciador y los tornillos más adelante. Consérvelos.

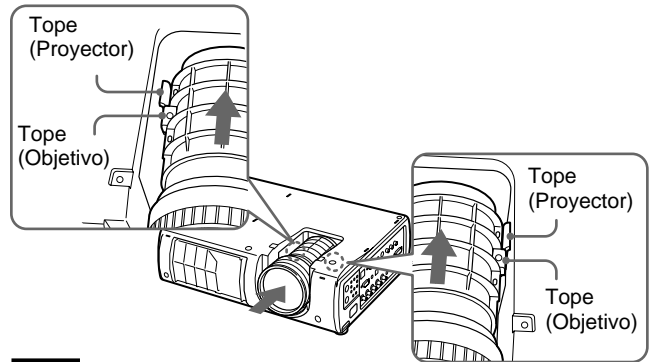
7 Extraiga los dos tornillos (M3×8, plateados) de la sección indicada en la figura, y a continuación quite la cubierta inferior del objetivo.



8 Levante e incline el lado izquierdo de la cubierta inferior del objetivo, muévala hacia el lado derecho, y a continuación retírela en dirección hacia la derecha y arriba mientras la mantiene inclinada.



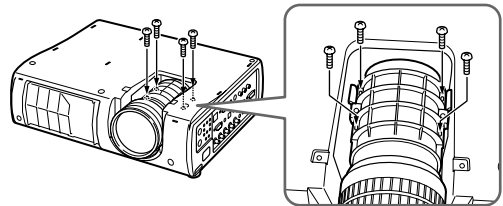
9 Alinee las posiciones de forma que se toquen los topes del objetivo y de la unidad del proyector, y a continuación coloque el objetivo.



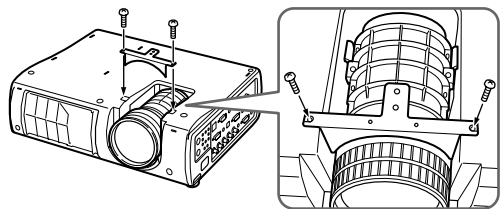
Nota

Para facilitar la identificación del objetivo al instalarlo, asegúrese de que el tope del objetivo se encuentra en la parte superior.

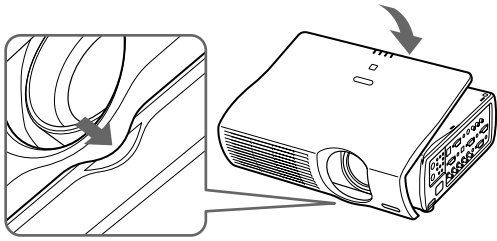
10 Utilizando un destornillador Philips, apriete los cuatro tornillos (M3×10, con arandelas) que sujetan la lente en su sitio.



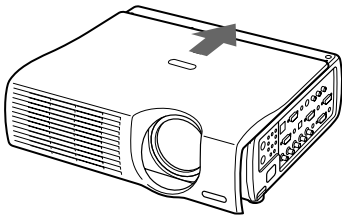
11 Utilice los dos tornillos (M3×8, plateados) para montar la cubierta inferior del objetivo quitada sobre el objetivo en la orientación mostrada en la figura de abajo.



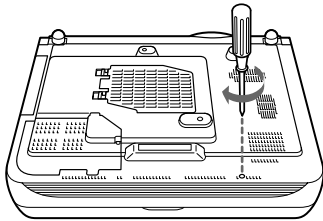
- 12** Alinee la protuberancia de debajo de la lente de la cubierta superior con la depresión de la base (consulte el diagrama de abajo), y después inserte las seis lengüetas de los lados de la cubierta superior en las hendiduras del proyector.



- 13** Vuelva a poner la cubierta superior deslizándola hasta que toque contra el lado posterior.



- 14** Apriete el tornillo (un único tornillo largo(M3)) de la parte inferior de la unidad.



Sicherheitsmaßnahmen

Sicherheit

- Achten Sie darauf, daß die Betriebsspannung des Geräts der lokalen Stromversorgung entspricht. Wenn die Betriebsspannung angepaßt werden muß, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Fachpersonal von Sony.
- Sollten Fremdkörper oder Flüssigkeiten in das Gerät gelangen, trennen Sie es von der Netzsteckdose. Lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal von Sony überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Wollen Sie das Gerät einige Tage nicht benutzen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.
- Ziehen Sie zum Lösen des Netzsteckers immer am Stecker, niemals am Kabel.
- Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Geräts befinden und leicht zugänglich sein.
- Das Gerät bleibt auch in ausgeschaltetem Zustand mit dem Stromnetz verbunden, solange das Netzkabel mit der Netzsteckdose verbunden ist.
- Schauen Sie nicht in das Objektiv, während die Birne eingeschaltet ist.
- Stellen Sie keine Gegenstände in die Nähe der Lüftungsöffnungen, und halten Sie auch Ihre Hände davon fern — die ausströmende Luft ist heiß!
- Verwenden Sie kein Verlängerungskabel, das nur für geringe Spannungen ausgelegt ist. Ein solches Kabel könnte zu Kurzschlüssen und sonstigen Unfällen führen.
- Tragen Sie den Projektor immer am Tragegriff. Halten Sie den Projektor, wenn Sie ihn tragen, nicht an anderen Stellen, vor allem nicht am Objektiv. Achten Sie auch darauf, die Hände nicht zwischen Tragegriff, Fußboden und Projektor einzuklemmen.
- Wenn Sie einen am Boden installierten Projektor bewegen, achten Sie darauf, die Hände nicht zwischen Fußboden und Projektor einzuklemmen.
- Greifen Sie auf keinen Fall in den Ventilator.
- Tragen Sie einen in einen Ständer eingebauten Projektor nicht mit geöffneter Abdeckung.


Aufstellung

- Mit Hilfe der Projektoraufhängung PSS-610 von Sony können Sie den Projektor an der Decke installieren.
- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet. Stellen Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Materialien wie Gardinen und Wandbehängen auf, die die Lüftungsöffnungen blockieren könnten. Achten Sie auf einen Mindestabstand von 30 cm zwischen der Wand und dem Projektor. Denken Sie bei Deckeninstallationen daran, daß Wärme zur Decke aufsteigt. Achten Sie darauf, daß die Temperatur am Installationsort nicht zu hoch ist.
- Installieren Sie den Projektor am Boden oder an der Decke. Bei Installation in einer anderen Position kann es zu Fehlfunktionen wie Farbstörungen kommen, und die Lebensdauer der Birne ist möglicherweise verkürzt.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizkörpern oder Warmluftauslässen oder an Orten auf, an denen es direktem Sonnenlicht, außergewöhnlich viel Staub oder Feuchtigkeit, mechanischen Vibrationen oder Stößen ausgesetzt ist.
- Installieren Sie das Gerät nicht an einem Ort, an dem die Temperatur sehr schnell ansteigen und zu Feuchtigkeitskondensation führen könnte.
- Achten Sie darauf, die Abdeckung sicher zu befestigen, wenn Sie das Gerät an der Decke installieren.

Beleuchtung

- Um eine optimale Bildqualität zu erzielen, achten Sie darauf, daß kein Licht direkt auf die Vorderseite des Projektionsschirms fällt.
- Empfohlen wird eine Spotbeleuchtung an der Decke. Leuchtstoffröhren sollten Sie abdecken, um eine Verminderung des Kontrasts zu verhindern.
- Verhängen Sie Fenster, die dem Projektionsschirm direkt gegenüber liegen.
- Sie sollten den Projektor in einem Raum installieren, in dem Boden und Wände mit einem Material verkleidet sind, das kein Licht reflektiert. Ist dies nicht möglich, sollten Sie für Bodenbelag und Wandverkleidung ein dunkles Material wählen.

Vermeiden eines internen Hitzestaus

- Nachdem Sie das Gerät mit der Taste I /  auf dem Bedienfeld oder mit der Fernbedienung ausgeschaltet haben, trennen Sie es nicht von der Netzsteckdose, solange der Ventilator noch läuft.
- Lösen Sie nicht das Netzkabel von der Netzsteckdose, solange der Ventilator noch läuft.

Achtung

Der Projektor ist an der Unterseite mit Ansaugöffnungen und an der Vorderseite mit Auslaßöffnungen ausgestattet. Blockieren Sie diese Öffnungen nicht, und stellen Sie keine Gegenstände in die Nähe der Öffnungen. Andernfalls kann es zu einem Wärmestau kommen, der zu einer Verringerung der Bildqualität oder Schäden am Projektor führen kann.

Reinigung

- Damit das Gehäuse immer wie neu aussieht, reinigen Sie es regelmäßig mit einem weichen Tuch. Hartnäckige Verschmutzungen können Sie mit einem Tuch entfernen, das Sie leicht mit einem milden Reinigungsmittel angefeuchtet haben. Verwenden Sie keine starken Lösungsmittel wie Verdüner oder Benzin und keine Scheuermittel, da diese die Gehäuseoberfläche angreifen.
- Berühren Sie das Objektiv nicht. Mit einem weichen, trockenen Tuch können Sie Staub vom Objektiv entfernen. Feuchten Sie das Tuch nicht an, und benutzen Sie weder eine Reinigungsflüssigkeit noch Verdüner.
- Reinigen Sie den Filter in regelmäßigen Abständen.

Verpacken

- Bewahren Sie Originalkarton und Verpackungsmaterialien gut auf für den Fall, daß Sie das Gerät später einmal transportieren müssen. Am besten geschützt ist das Gerät beim Transport, wenn Sie es wieder so verpacken, wie es geliefert wurde.

Übersicht

In dieser Anleitung wird beschrieben, wie Sie den Datenprojektor VPL-PX40/PX35 von Sony installieren, das Objektiv austauschen und die Objektivposition für die Rückprojektion (Winkel der optischen Achse: 0 Grad) ändern. Außerdem sind Installationsdiagramme abgebildet. Schlagen Sie bitte auch in der Bedienungsanleitung nach, wenn Sie das Objektiv austauschen oder die Objektivposition ändern wollen.

Austauschen des Objektivs

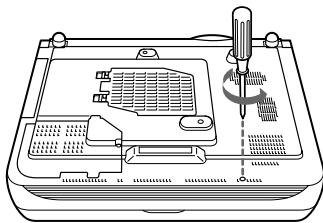
Die folgenden beiden Objektivtypen können im Projektor installiert werden.

- Zoom-Objektiv VPLL-ZM102 mit langer Brennweite

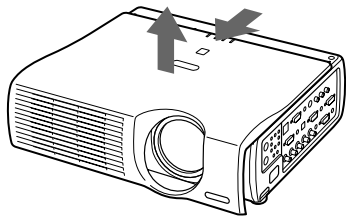
Tauschen Sie das Objektiv nach dem folgenden Verfahren aus.

Einzelheiten zum Austauschen des Objektivs finden Sie auch in der mit dem Objektiv gelieferten Installationsanleitung.

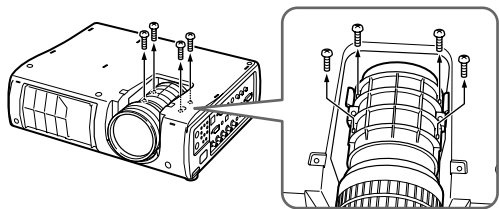
- 1** Schalten Sie den Projektor aus, und ziehen Sie das Netzkabel ab.
- 2** Entfernen Sie die Schraube (einzelne lange Schraube (M3)) von der Unterseite des Gerätes mit einem Kreuzschlitzschraubenzieher.



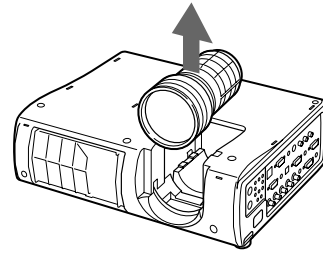
- 3** Schieben Sie die Abdeckhaube (obere Objektivabdeckung) nach vorn, und heben Sie sie nach oben ab.



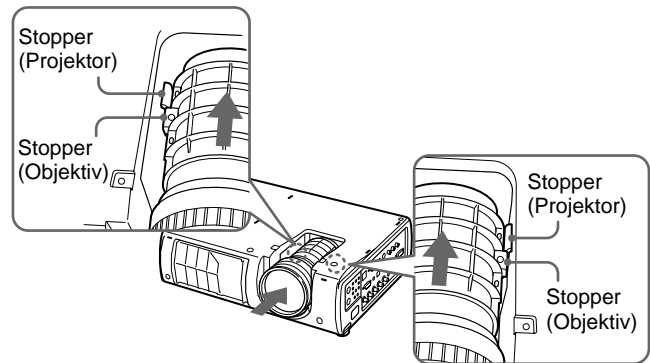
- 4** Entfernen Sie die vier Befestigungsschrauben (M3×10, mit Unterlegscheiben) des Objektivs.



- 5** Heben Sie das Objektiv nach oben heraus.



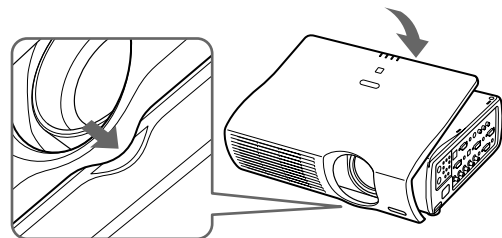
- 6** Richten Sie die Positionen so aus, dass der Stopper des neuen Objektivs den Stopper der Projektoreinheit berührt, und setzen Sie dann das Objektiv ein.



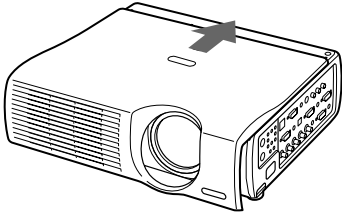
Hinweis

Richten Sie den am Objektiv angebrachten Stopper (Objektivseite) beim Einsetzen des Objektivs so aus, dass er von oben sichtbar ist.

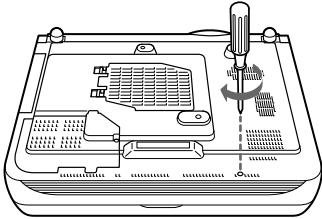
- 7** Befestigen Sie das Austausch-Objektiv mit vier Schrauben (M3×10, mit Unterlegscheiben).
- 8** Richten Sie den Vorsprung unter dem Objektiv an der Abdeckhaube auf die Vertiefung in der Basis aus (siehe nachstehende Abbildung), und führen Sie dann die sechs Zungen an den Seiten der Abdeckhaube in die Schlitze des Projektors ein.



- 9** Schieben Sie die Abdeckhaube zurück, bis sie die Rückseite berührt.



- 10** Ziehen Sie die Schraube (einzelne lange Schraube (M3)) auf der Unterseite an.



Hinweise

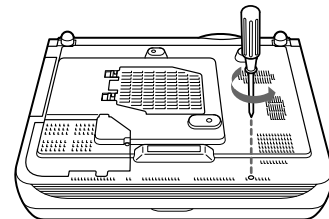
- Legen Sie das empfindliche Objektiv bei der Handhabung immer sachte und waagrecht auf eine stabile und ebene Unterlage, um es vor Kratzern zu schützen.
- Vermeiden Sie eine Berührung der Linsenoberfläche.

Ändern der Objektivposition für Rückprojektion (Winkel der optischen Achse: 0 Grad)

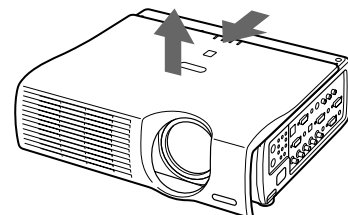
Für die Rückprojektion können Sie den Winkel der optischen Achse auf 0 (Null) einstellen. In diesem Fall müssen Sie die Objektivposition wie folgt ändern. Wenn Sie den Winkel der optischen Achse auf Null einstellen wollen, können Sie die folgenden Objektivtypen installieren.

- Standardobjektiv
- Zoom-Objektiv VPLL-ZM102 mit langer Brennweite
- Objektiv VPLL-FM22 mit feststehender kurzer Brennweite

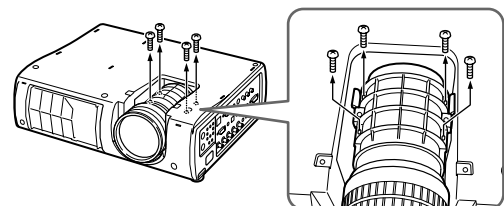
- 1** Schalten Sie den Projektor aus, und ziehen Sie das Netzkabel ab.
- 2** Entfernen Sie die Schraube (einzelne lange Schraube (M3)) von der Unterseite des Gerätes mit einem Kreuzschlitzschraubenzieher.



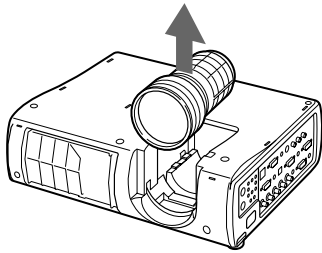
- 3** Schieben Sie die Abdeckhaube (obere Objektivabdeckung) nach vorn, und heben Sie sie nach oben ab.



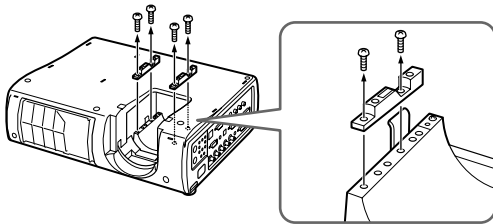
- 4** Entfernen Sie die Objektivabdeckung, mit der das Objektiv gesichert ist, indem Sie die vier Schrauben (M3×10, mit Unterlegscheiben) mit einem Kreuzschlitzschraubenzieher lösen.



- 5** Heben Sie das Objektiv nach oben heraus.



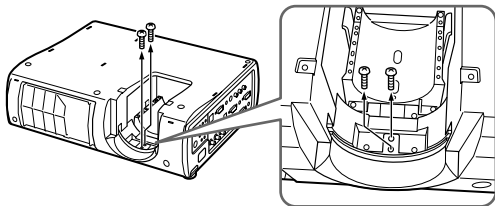
- 6** Entfernen Sie mit einem Kreuzschlitzschraubenzieher die vier Schrauben (M3×6, schwarz), während Sie die Abstandsstücke auf der linken und rechten Seite halten, wie in der Abbildung gezeigt, und nehmen Sie dann die Abstandsstücke ab.



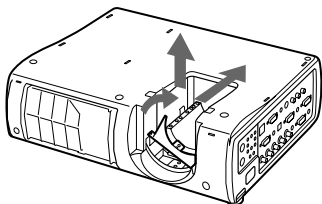
Hinweis

Die Abstandsstücke und die Schrauben werden möglicherweise später wieder benötigt. Bewahren Sie die Teile daher auf.

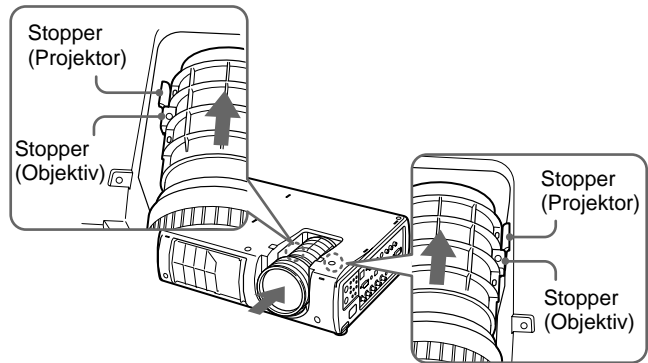
- 7** Entfernen Sie die zwei Schrauben (M3×8, silbern) von der in der Abbildung gezeigten Stelle, und nehmen Sie dann die untere Objektivabdeckung ab.



- 8** Heben Sie die linke Seite der unteren Objektivabdeckung schräg an, drücken Sie sie nach rechts, und entfernen Sie die Abdeckung dann nach rechts oben, während Sie sie schräg halten.



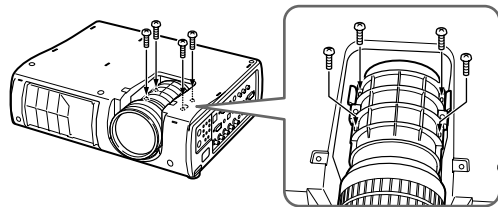
- 9** Richten Sie die Positionen so aus, dass der Stopper des Objektivs den Stopper der Projektoreinheit berührt, und setzen Sie dann das Objektiv ein.



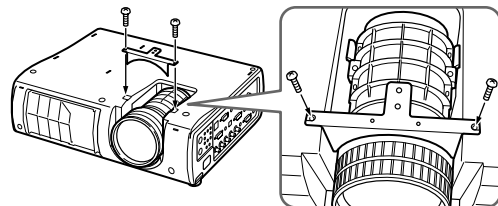
Hinweis

Um die Identifizierung bei der Installation des Objektivs zu erleichtern, stellen Sie sicher, dass der Objektivstopper nach oben weist.

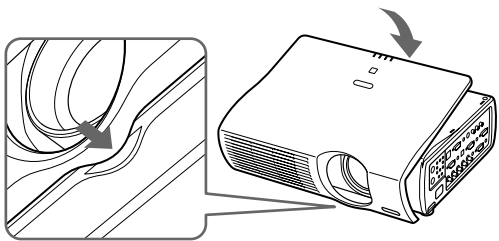
- 10** Ziehen Sie mit einem Kreuzschlitzschraubenzieher die vier Schrauben (M3×10, mit Unterlegscheiben) an, mit denen das Objektiv befestigt ist.



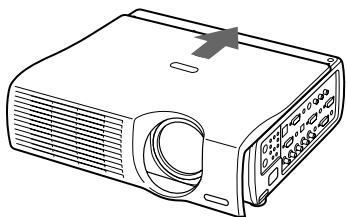
- 11** Benutzen Sie die zwei Schrauben (M3×8, silbern), um die entfernte untere Objektivabdeckung so auf das Objektiv zu montieren, wie in der nachstehenden Abbildung gezeigt.



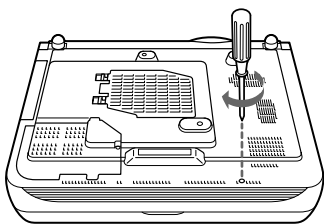
- 12** Richten Sie den Vorsprung unter dem Objektiv an der Abdeckhaube auf die Vertiefung in der Basis aus (siehe nachstehende Abbildung), und führen Sie dann die sechs Zungen an den Seiten der Abdeckhaube in die Schlitze des Projektors ein.



- 13** Schieben Sie die Abdeckhaube zurück, bis sie die Rückseite berührt.



- 14** Ziehen Sie die Schraube (einzelne lange Schraube (M3)) auf der Unterseite an.



Precauzioni

Sicurezza

- Verificare che la tensione operativa dell'apparecchio corrisponda a quella dell'alimentazione locale. Se fosse necessario un adattatore di tensione, contattare il personale qualificato Sony.
- Se dovessero penetrare corpi liquidi o solidi all'interno dell'apparecchio, scollegarlo e farlo controllare da personale qualificato Sony prima di riutilizzarlo.
- Scollegare l'apparecchio dalla presa di rete se non si intende utilizzarlo per diversi giorni.
- Per scollegare il cavo, tirare afferrando la spina e mai il cavo stesso.
- La presa di rete deve trovarsi vicino all'apparecchio ed essere facilmente accessibile.
- L'apparecchio non è scollegato dalla sorgente di alimentazione CA (di rete) fino a che resta collegato alla presa a muro, anche se l'interruttore è stato spento.
- Non guardare dentro l'obiettivo quando la lampada è accesa.
- Non avvicinare la mano o alcun oggetto alle prese di ventilazione — l'aria che ne fuoriesce ha una temperatura elevata.
- Evitare l'uso di una prolunga con un basso voltaggio in quanto potrebbe provocare cortocircuiti e danni fisici.
- Per trasportare il proiettore assicurarsi di utilizzare la maniglia di trasporto. Non afferrare altre parti del proiettore, specialmente l'obiettivo. Fare attenzione a non incastrare le dita tra la maniglia, il pavimento e il proiettore.
- Non infilare le dita tra l'apparecchio e la superficie del pavimento quando si sposta il proiettore installato sul pavimento.
- Fare attenzione a non infilare le dita nella ventola di raffreddamento.
- Non trasportare il proiettore con sopra gli accessori e il coperchio aperto.


Installazione

- Se il proiettore viene installato al soffitto, è necessario utilizzare il supporto di sospensione Sony PSS-610.
- Consentire una buona circolazione d'aria all'interno dell'apparecchio per evitarne il surriscaldamento. Non collocare l'apparecchio su superfici come tappeti, coperte, ecc., o vicino a materiali come tende e drappaggi che potrebbero bloccare le prese di ventilazione. Lasciare uno spazio di almeno 30 cm fra la parete e il proiettore. Dal momento che il calore si propaga verso l'alto, verificare che la temperatura circostante il luogo d'installazione non sia troppo elevata.
- Installare il proiettore al pavimento o al soffitto. Ogni altro tipo di installazione può causare problemi di funzionamento come ad esempio un'irregolarità del colore o una durata della lampada più breve.
- Non installare l'apparecchio nei pressi di fonti di calore come radiatori o condotti d'aria calda, né in luoghi esposti alla luce diretta del sole, polvere eccessiva, umidità, vibrazioni o urti meccanici.
- Per evitare la formazione di condensa, non installare l'apparecchio in un ambiente soggetto ad aumenti di temperatura repentini.
- Assicurarsi che il coperchio del rivestimento sia ben saldo quando viene effettuata l'installazione al soffitto.

Illuminazione

- Per ottenere un'immagine ottimale, la parte anteriore dello schermo non deve essere esposta a illuminazione diretta o alla luce diretta del sole.
- Si consiglia un'illuminazione costituita da farette installati al soffitto. Per evitare di abbassare il rapporto del contrasto, schermare le lampade fluorescenti vicine al proiettore.
- Coprire con tende opache eventuali finestre poste di fronte allo schermo.
- Si consiglia di installare l'apparecchio in una stanza dove pavimento e pareti non siano in materiale che riflette la luce. Diversamente, si consiglia di applicare materiali di rivestimento di colore scuro per prevenire il surriscaldamento interno.

Prevenzione del surriscaldamento interno

- Dopo aver disattivato l'alimentazione con il tasto I /  sul pannello di controllo o sul telecomando, non scollegare l'apparecchio dalla presa di rete mentre la ventola è ancora in funzione.
- Non scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa di rete mentre la ventola è ancora in funzione.

Attenzione

Il proiettore è dotato di prese di ventilazione (aspirazione) sul fondo e di prese di ventilazione (scarico) sulla parte anteriore. Non ostruire o non collocare nulla vicino alle prese per evitare un surriscaldamento interno che potrebbe deteriorare l'immagine o danneggiare il proiettore.

Pulizia

- Per mantenere l'apparecchio sempre come nuovo, pulirlo regolarmente con un panno morbido. Per eliminare le macchie ostinate, usare un panno leggermente inumidito con un detergente neutro. Non usare mai solventi potenti, tipo acqueragia, benzene o detersivi abrasivi che potrebbero danneggiare le finiture esterne del rivestimento.
- Evitare di toccare l'obiettivo. Per rimuovere la polvere dall'obiettivo, usare un panno morbido e asciutto. Non utilizzare mai un panno bagnato, né detersivi o solventi.
- Pulire il filtro regolarmente.

Imballaggio

- Conservare lo scatolone e il materiale di imballaggio originali, perché potrebbero rivelarsi utili per trasportare l'apparecchio in futuro. Per una protezione ottimale durante il trasporto, imballare l'apparecchio così come lo si è ricevuto dal fabbricante.

Presentazione

Questo manuale descrive come installare i proiettori di dati Sony modello VPL-PX40/PX35 come sostituire l'obiettivo, come cambiare la posizione dell'obiettivo per la proiezione posteriore (angolo di asse ottico: 0 gradi) e i diagrammi di installazione. Fare inoltre riferimento alle istruzioni per l'uso, per sostituire l'obiettivo o cambiare la posizione dell'obiettivo.

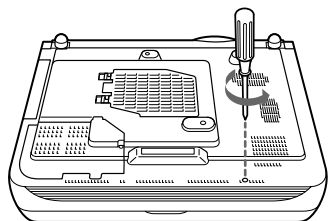
Sostituzione dell'obiettivo

È possibile installare nel proiettore i due tipi di obiettivi che seguono.

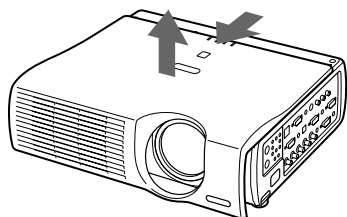
- Obiettivo zoom con messa a fuoco lunga VPLL-ZM102

Per sostituire l'obiettivo procedere come segue.
Per informazioni dettagliate su come sostituire l'obiettivo, fare anche riferimento al manuale d'installazione fornito con l'obiettivo.

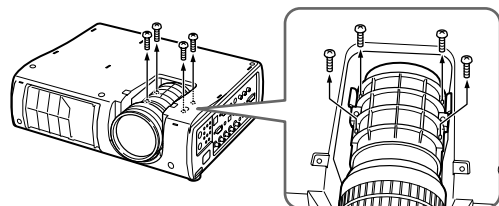
- 1** Spegner l'alimentazione e scollegare il relativo cavo.
- 2** Rimuovere la vite sul fondo dell'unità, usando un cacciavite con testa a croce (n. 1 vite lunga (M3)).



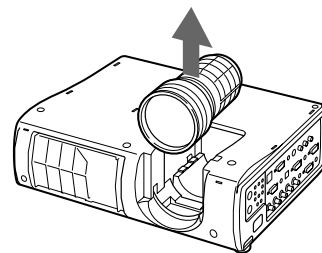
- 3** Fare scorrere in avanti il coperchio superiore (copriobiettivo) e sollevare per rimuoverlo.



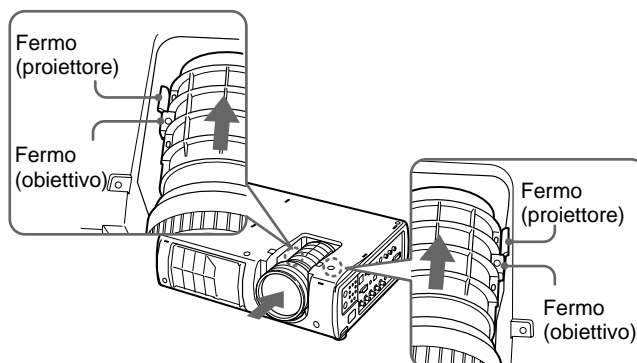
- 4** Rimuovere le quattro viti (M3×10, con rondelle) che bloccano l'obiettivo.



- 5** Sollevare e rimuovere l'obiettivo.



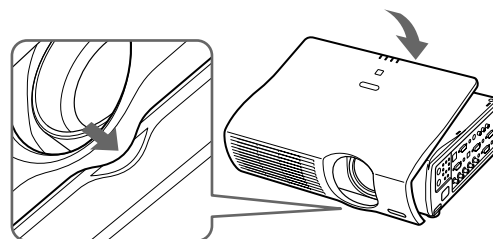
- 6** Allineare le posizioni del fermo dell'obiettivo nuovo e del fermo dell'unità proiettore in modo che siano in contatto, quindi montare l'obiettivo.



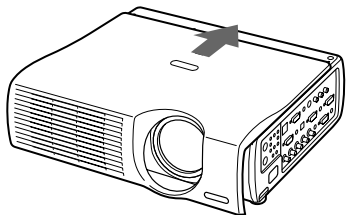
Nota

Nel montare l'obiettivo, montare il relativo fermo (lato obiettivo) in modo che sia visibile dall'alto.

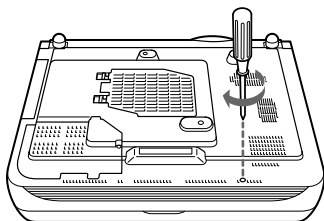
- 7** Bloccare in posizione l'obiettivo sostituito con le quattro viti (M3×10, con rondelle).
- 8** Allineare la protuberanza sotto l'obiettivo sulla parte superiore del copriobiettivo con la sagomatura nella base (fare riferimento alla figura che segue), quindi inserire le sei linguette sui lati della parte superiore del coperchio nelle fessure sul proiettore.



- 9** Fare scorrere indietro la parte superiore del copriobiettivo finché raggiunge il lato posteriore.



- 10** Stringere la vite (n. 1 vite lunga (M3)) sul fondo.



Note

- L'obiettivo si graffia facilmente quindi, nel maneggiarlo, appoggiarlo sempre su una superficie stabile e in piano, in posizione orizzontale.
- Non toccare la superficie dell'obiettivo.

Cambiamento di posizione dell'obiettivo per la proiezione posteriore (angolo dell'asse ottico: 0 gradi)

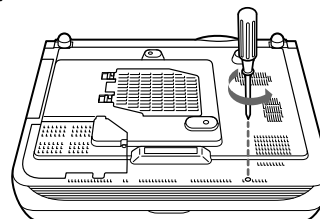
Per la proiezione posteriore, è possibile regolare l'angolo dell'asse ottico sullo 0 (zero). In tal caso è necessario regolare la posizione dell'obiettivo come segue.

È possibile installare i seguenti tipi di obiettivo per un angolo di asse ottico zero.

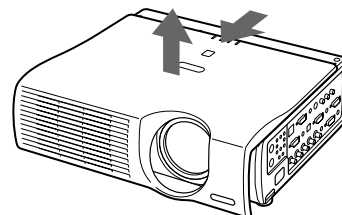
- Obiettivo standard
- Obiettivo zoom con messa a fuoco lunga VPLL-ZM102
- Obiettivo fisso con messa a fuoco breve VPLL-FM22

- 1** Spegner l'alimentazione scollegare il relativo cavo.

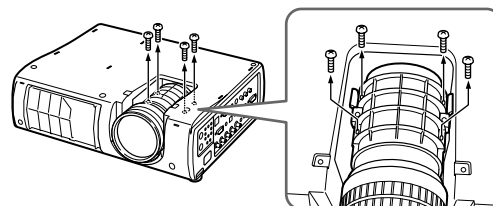
- 2** Rimuovere la vite dal fondo dell'unità, usando un cacciavite con testa a croce (n. 1 vite lunga (M3)).



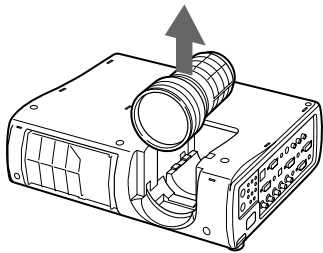
- 3** Far scorrere in avanti la parte superiore del coperchio (copriobiettivo), quindi sollevare per rimuoverlo.



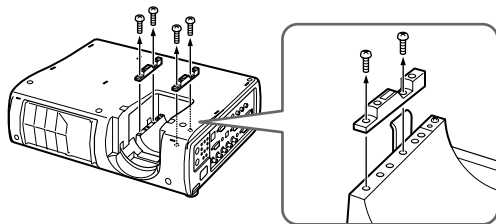
- 4** Rimuovere il copriobiettivo che blocca l'obiettivo allentando le quattro viti (M3×10, con rondelle) usando un cacciavite con punta a croce.



- 5** Sollevare e rimuovere l'obiettivo.



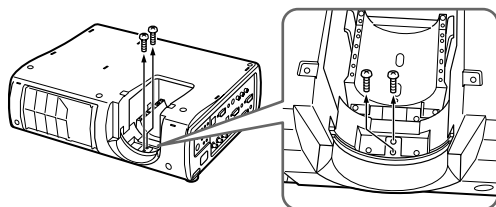
- 6** Usare un cacciavite a croce per rimuovere le quattro viti (M3×6, nere) che fissano i distanziatori sinistro e destro come illustrato nella figura, quindi rimuovere i distanziatori.



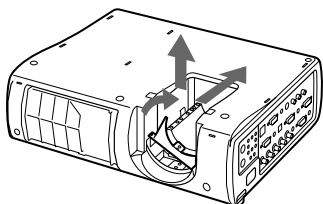
Nota

Il distanziatore e le viti potrebbero essere utili in seguito. Conservarli.

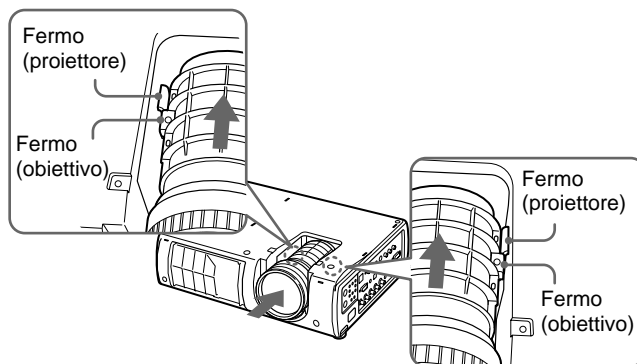
- 7** Rimuovere le due viti (M3×8, argentate) dalla parte indicata nella figura, quindi rimuovere il copriobiettivo inferiore.



- 8** Alzare e inclinare il lato sinistro del copriobiettivo inferiore, portarlo verso il lato destro, quindi rimuoverlo sollevando verso destra mantenendolo inclinato.



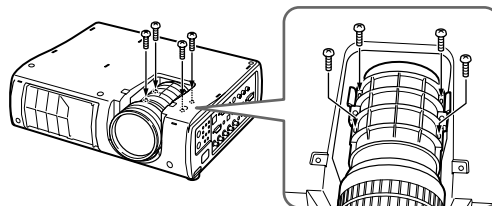
- 9** Allineare le rispettive posizioni in modo che il fermo dell'obiettivo sia in contatto con il fermo dell'unità proiettore, quindi montare l'obiettivo.



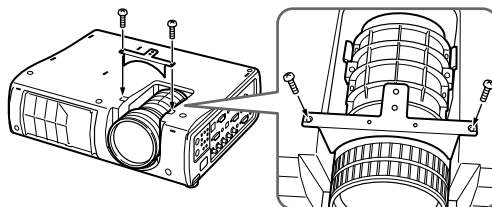
Nota

Per facilitare il riconoscimento, quando si installa l'obiettivo, fare in modo che il fermo dell'obiettivo sia rivolto verso l'alto.

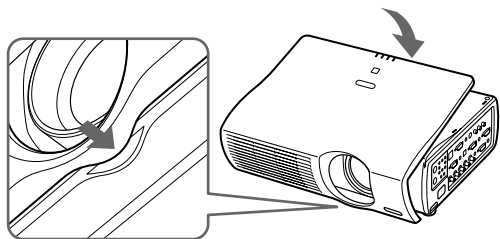
- 10** Usare un cacciavite a croce per stringere le quattro viti (M3×10, con rondelle) che fissano in posizione l'obiettivo



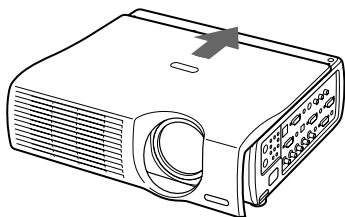
- 11** Usare le due viti (M3×8, argentate) per montare sull'obiettivo il copriobiettivo inferiore, nella direzione indicata nella figura che segue.



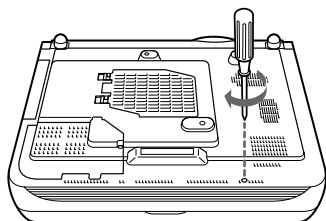
- 12** Allineare la protuberanza sotto l'obiettivo sulla parte superiore del copriobiettivo con la sagomatura nella base (fare riferimento alla figura che segue), quindi inserire le sei linguette sui lati della parte superiore del coperchio nelle fessure sul proiettore.



- 13** Fare scorrere indietro la parte superiore del copriobiettivo finché raggiunge il lato posteriore.



- 14** Stringere la vite (n. 1 vite lunga (M3)) sul fondo.



使用前须知

安全须知

- 请核查本机的工作电压是否与当地的供电电压一致。若需进行电压适配，请向 Sony 公司的专业技术人员咨询。
- 万一有液体或固体落入机壳内，请拔下本机的电源插头，并请 Sony 公司的专业技术人员检查后再使用。
- 数日不使用本机时，请将本机的电源插头从墙上电源插座拔出。
- 拔取电源线时，请手持插头将其拔出，切勿拉扯电线本身。
- 本机应靠近墙上电源插座以便接线。
- 即使本机的电源已关闭，只要其电源插头还连接在墙上电源插座上，本机便未脱离交流电源。
- 投影灯点亮时，请勿直视透镜。
- 请勿将手或物体放在通风孔附近旒因排出的空气很热。
- 避免使用低压上限的延长导线，否则会导致短路或人身伤害。
- 搬运投影机时，一定要使用搬运把手。请勿抓住投影机的其他部位（特别是透镜）搬运，也不要让手指夹在把手，地板和投影机之间。
- 移动落地安装的投影机时，请勿让手指夹在投影机和地面之间。
- 小心勿让冷却扇夹住手指。
- 请勿在机壳及盖板打开状态下不要搬运投影机。

安装须知

- 要将投影机安装在天花板上时，必须使用 Sony PSS-610 投影机悬挂支架进行安装。
- 请保持适当的空气流通，以防内部聚热。请勿将本机放在可能堵塞通风孔的地毯、毛毯等表面上或窗帘、帷幕附近。在墙壁和投影机之间应留出 30 cm 以上的空间。请注意，室内的热气会聚积到天花板上；因此要检查安装位置附近的温度是否过高。

- 请将投影机安装在地板或天花板上。任何其他安装方式将引起诸如色彩紊乱或灯泡寿命缩短等故障。
- 请勿将本机安装在靠近取暖器或暖气管等热源之处，也勿将本机安装在受阳光直射、多尘、潮湿或有机械振动或冲击之处。
- 为避免湿气凝结，请勿将本机安装在温度可能急剧升高的地方。
- 悬吊安装时，一定要装严机壳盖板。

照明须知

- 为获得最佳图像，不可使屏幕正面暴露在直射光线或阳光之下。
- 推荐使用吊装荧光灯。请用灯罩遮住荧光灯以降低对比度。
- 用不透光的帷幕遮住面对屏幕的所有窗户。
- 最好将投影机安装在地板和墙壁都不是反光材料制成的房间内。如果地板和墙壁是反光材料制成的，最好将地毯和壁纸改为暗色的。

防止内部聚热须知

- 用控制面板上的 I/O 键或遥控器上的 I/O 键关闭电源后，在冷却扇还在运转时，请勿将本机的电源插头从墙上电源插座上拔出。
- 在冷却扇还在运转时，请勿将交流电源线从墙上电源插座上拔出。

注意

投影机的底部有通风（进气）孔，前部有通风（排气）孔。请勿堵塞这些孔或在其附近放置任何物体，否则可能发生内部聚热，从而导致图像劣化或投影机受损。

清洁须知

- 为使机壳外观一往如新，请定期用软布擦拭。顽固的污迹可用稍沾中性洗涤剂的布擦除。切勿使用稀释剂、汽油或抛光剂等强性溶剂，否则会损坏机壳。
- 请勿触摸透镜。透镜上的灰尘请用柔软的干布擦除。请勿使用湿布、洗涤剂或稀释剂。
- 请定期清洁滤网。

重新包装须知

- 请保存原有的包装箱和包装材料；当您要运送本机时，它们会给您带来方便。为尽量保护好机体，请按照出厂时的包装方法重新包装本机。

概要

本手册说明如何安装 Sony 数据投影机 VPL-PX40/PX35，如何更换透镜，如何改变用于后投影的透镜位置（光轴角：0 度），并介绍安装图。更换透镜或改变透镜位置时，请同时参照使用说明书。

更换透镜

可将下列两种类型的透镜安装在投影机上。

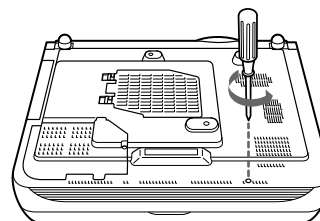
- VPLL-ZM102长焦距变焦透镜

请按照下列步骤更换透镜。

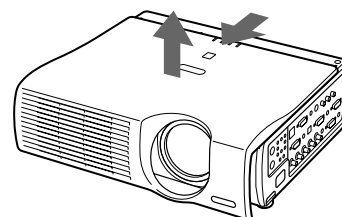
有关更换透镜的详细说明，请同时参照随透镜所附的安装手册。

1 关闭电源，拔下电源线。

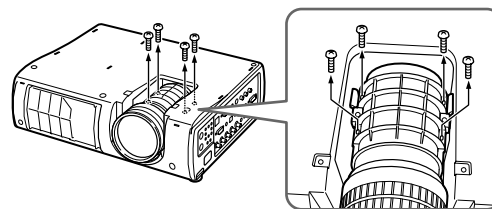
2 用菲利浦螺丝刀从本机底部卸下螺钉。
(一个长螺钉 (M3))



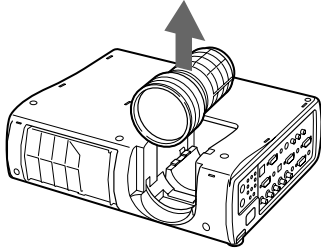
3 将顶盖（透镜头盖）向前滑动，然后抬起将其取下。



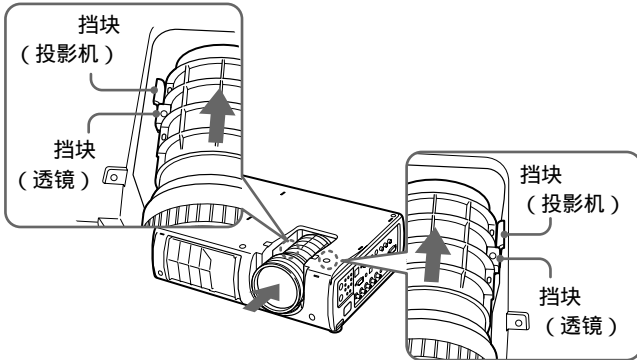
4 卸下固定透镜的4颗螺钉 (M3×10，带垫圈)。



5 提起并取出透镜。



6 将新透镜的挡块与投影机挡块彼此接触来对齐其位置，然后安装透镜。

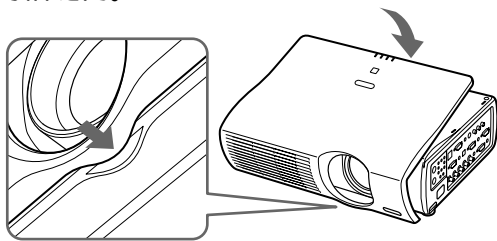


注意

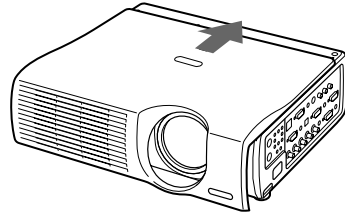
当安装透镜时，要将挡块（透镜侧）安装到透镜上，使其可从上方看得见。

7 用4颗螺钉（M3×10，带垫圈）将更换透镜固定到位。

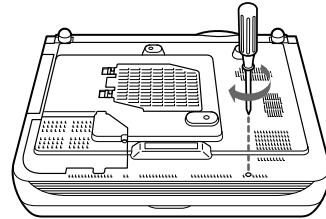
8 将顶盖上透镜下面的凸起与其板内的沟槽对齐，然后将顶盖边侧上的6个翼片插入投影机上的槽缝内。



9 将顶盖向后滑动直至接触到后侧为止。



10 紧固底面上的螺钉（一个长螺钉（M3））。



注意

- 透镜易刮伤，因此在使用时一定要将其轻轻放在平稳的水平面上。
- 请勿触摸透镜表面。

改变用于后投影的透镜位置 (光轴角 0度)

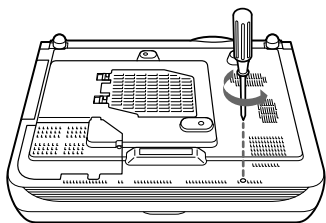
进行后投影时，可将光轴角设为0（零）度。此时，需如下设定透镜的位置。

对零度光轴角，可安装下列类型的透镜。

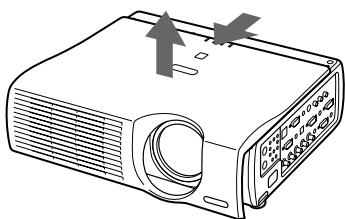
- 标准透镜
- VPLL-ZM102长焦距变焦透镜
- VPLL-FM22固定短焦距透镜

1 关闭电源，拔下电源线。

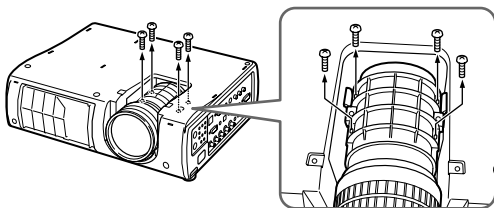
2 用菲立浦螺丝刀从本机底部卸下螺钉。
(一个长螺钉 (M3))



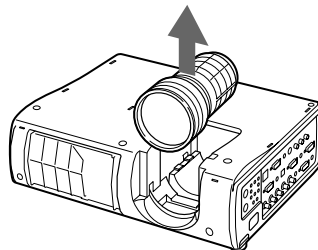
3 将顶盖（透镜头盖）向前滑动，然后抬起将其取下。



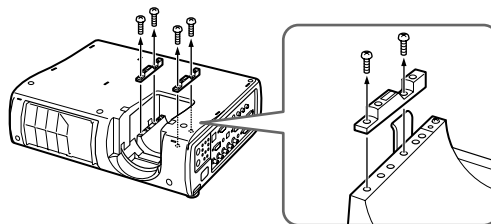
4 用菲立浦螺丝刀卸下固定透镜的4颗螺钉
(M3×10，带垫圈)。



5 提起并取出透镜。



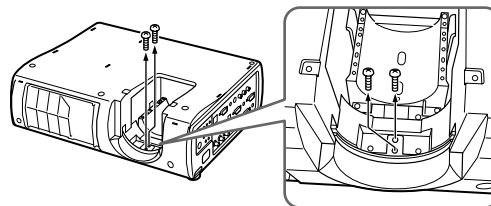
6 用菲立浦螺丝刀，如图所示握持左侧和右侧垫片，卸下4颗螺钉 (M3×6，黑色)，然后卸下垫片。



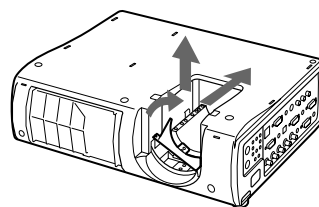
注意

以后可能还要用到垫片和螺钉，请将其保管好。

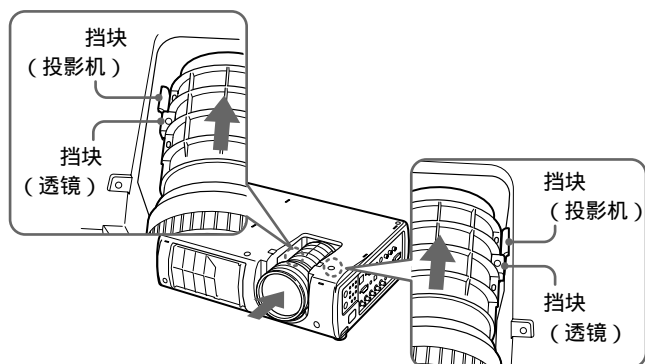
7 从图中所示的部分卸下2颗螺钉 (M3×8，银制)，然后卸下透镜底盖。



8 抬起并倾斜透镜底盖左侧，使其朝向右侧，然后保持这一倾斜状态沿向右上的方向将其取出。



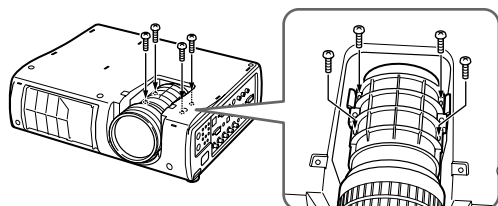
- 9** 将透镜的挡块与投影机挡块彼此接触来对齐其位置，然后安装上透镜。



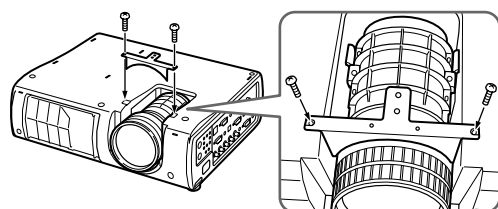
注意

为了安装透镜时便于识别，务必要将透镜挡块朝上。

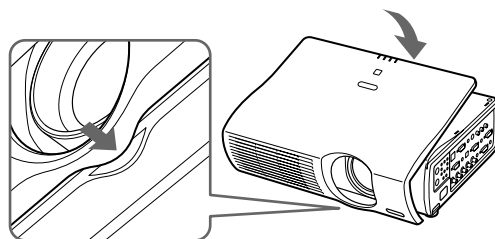
- 10** 用菲立浦螺丝刀拧紧4颗螺钉（M3×10，带垫圈）固定透镜。



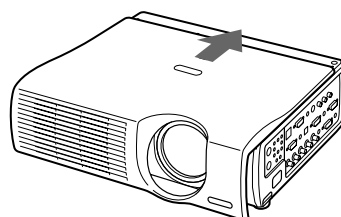
- 11** 用2颗螺钉（M3×8，银制），按下图所示的方向，将卸下的透镜底盖安到透镜上。



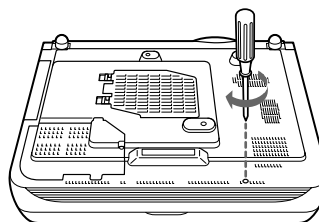
- 12** 将顶盖上透镜下面的凸起与其板内的沟槽对齐，然后将顶盖边侧上的6个翼片插入投影机上的槽缝内。



- 13** 将顶盖向后滑动直至接触到后侧为止。

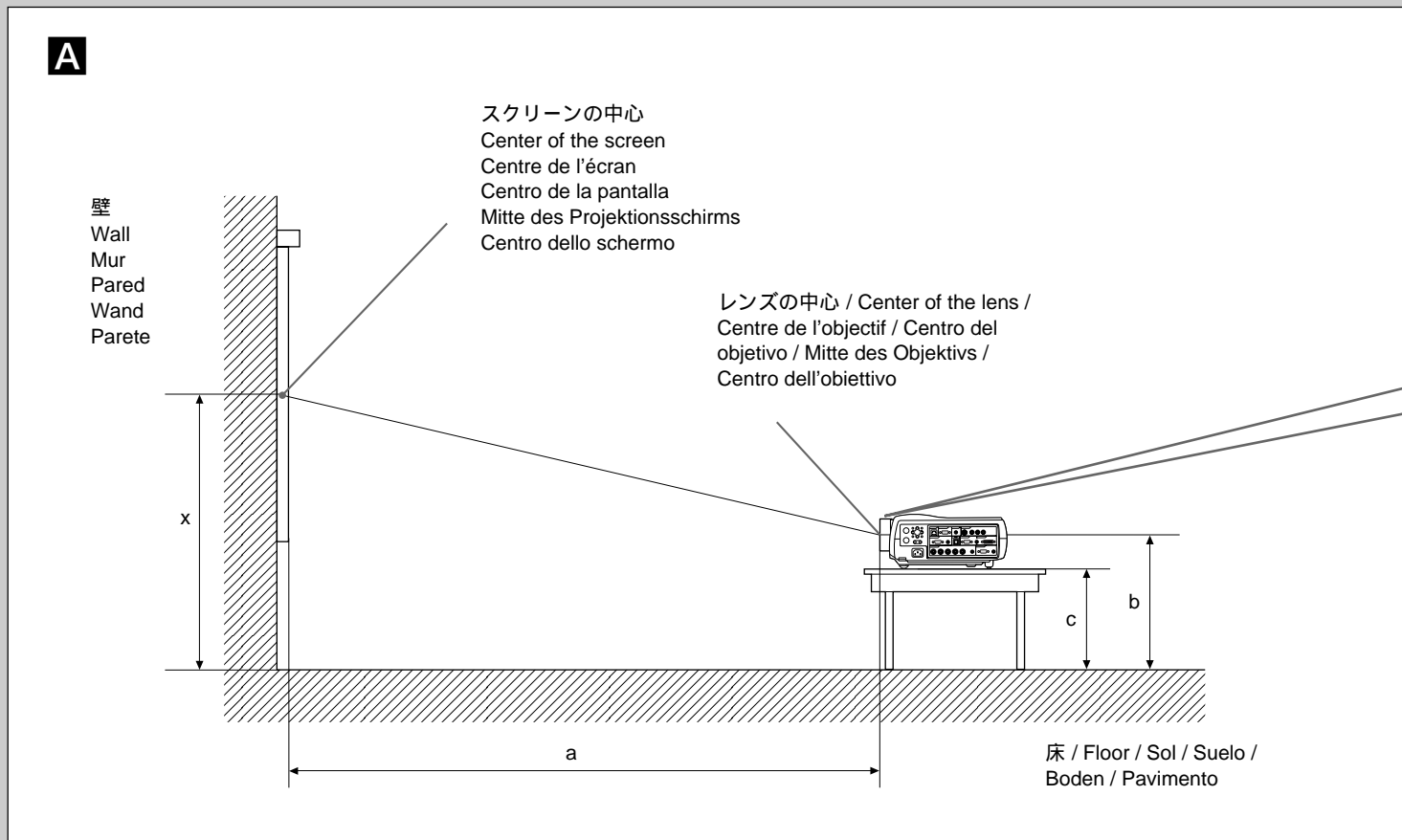


- 14** 紧固底面上的螺钉（一个长螺钉（M3））。



設置寸法

床置き、フロント投影

Installation
DiagramFloor Installation (Front
Projection)Schéma
d'installationInstallation au sol
(projection frontale)

プロジェクターを机などの上に置いて設置する
場合の設置例を示します。A

設置寸法については、48、49 ページの表をご
覧ください。

イラスト中のアルファベットは、以下の距離を示
します。

- a: レンズの中心からスクリーンまでの距離
- b: 床からレンズの中心までの距離
- c: 床からプロジェクターの脚までの距離
- x: 任意

This section describes the examples for
installing the projector on the desk, etc. A

See the charts on pages 48 and 49
concerning the installation measurements.

The alphabetical letters in the illustration
indicate the distances below.

- a: distance between the screen and the
center of the lens
- b: distance between the floor and the
center of the lens
- c: distance between the floor and the
bottom of the adjusters of the projector
- x: free

Cette section décrit des exemples
d'installation du projecteur sur un bureau,
etc. A

Reportez-vous aux tableaux des pages 48 à
49 sur les mesures d'installation.

Les caractères alphabétiques dans
l'illustration indiquent les distances ci-
dessous.

- a: distance entre l'écran et le centre de
l'objectif
- b: distance entre le sol et le centre de
l'objectif
- c: distance entre le sol et la base des pieds
réglables du projecteur
- x: libre

Diagrama de instalación

Instalación en el suelo
(proyección frontal)

Installations- diagramm

Installation am Boden
(Frontprojektion)

Diagramma di installazione

Installazione sul pavimento
(proiezione frontale)

キャビネットの前面からレンズ中心までの
距離

Distance between the front of the cabinet
and the center of the lens

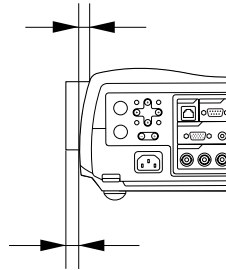
Distance entre l'avant du châssis et le
centre de l'objectif

Distancia entre la parte frontal de la unidad
y el centro del objetivo

Abstand zwischen der Gehäusevorderseite
und der Objektivmitte

Distanza tra la parte anteriore
dell'apparecchio e il centro dell'obiettivo

Standard: 4 ($\frac{3}{16}$)



VPLL-ZM102: 32 ($\frac{15}{16}$)

単位 : mm (インチ) / Unit: mm (inches) /
Unité: mm (pouces) / Unidad: mm (pulgadas) /
Einheit: mm (Zoll) / Unità: mm (pollici)

En esta sección se muestran ejemplos para
instalar el proyector sobre una mesa, etc.

A

Consulte las tablas de las páginas 48 a 49 en
relación con las medidas de instalación.

Las letras alfabéticas de la ilustración
indican las distancias mostradas a
continuación.

- a : distancia entre la pantalla y el centro del
objetivo
- b : distancia entre el suelo y el centro del
objetivo
- c : distancia entre el suelo y la base de los
ajustadores del proyector
- x : libre

In diesem Abschnitt finden Sie Beispiele
für das Installieren des Projektors auf einem
Tisch usw. **A**

In den Tabellen auf Seite 48 bis 49 finden
Sie die Installationsabmessungen.

Die Buchstaben in der Abbildung beziehen
sich auf die unten beschriebenen Abstände.

- a : Abstand zwischen dem
Projektionsschirm und der Mitte des
Objektivs
- b : Abstand zwischen dem Boden und der
Mitte des Objektivs
- c : Abstand zwischen dem Boden und der
Unterseite der Ausgleichsfüße des
Projektors
- x : frei

Questa sezione descrive gli esempi di
installazione del proiettore su un tavolo,
ecc. **A**

Vedere i diagrammi da pagina 48 a pagina
49 relativi alle misure di installazione.

Le lettere nell'illustrazione indicano le
distanze descritte di seguito.

- a : distanza fra lo schermo e il centro
dell'obiettivo
- b : distanza tra il pavimento e il centro
dell'obiettivo
- c : distanza fra il pavimento e la base dei
dispositivi di regolazione del proiettore
- x : libero

設置寸法 床置き、フロント投影

Installation Diagram Floor Installation (Front Projection)

Schéma d'installation Installation au sol (projection frontale)

■ 標準レンズ / Standard lens / Objectif standard / Objetivo estándar / Standardobjektiv / Uso Obiettivo standard

単位 : mm (インチ) / Unit: mm (inches) / Unité: mm (pouces) / Unidad: mm (pulgadas) / Einheit: mm (Zoll) / Unità: mm (pollici)

SS		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	N	1490 (58 ⁷ / ₈)	2270 (89 ³ / ₈)	3040 (119 ⁷ / ₈)	3820 (150 ³ / ₈)	4590 (180 ⁷ / ₈)	5750 (226 ⁵ / ₈)	6920 (272 ³ / ₈)	7690 (302 ⁷ / ₈)	9630 (379 ¹ / ₈)	11570 (455 ¹ / ₂)
	M	1890 (74 ³ / ₈)	2860 (112 ⁵ / ₈)	3830 (150 ³ / ₄)	4800 (189)	5770 (227 ¹ / ₄)	7220 (284 ¹ / ₂)	8680 (341 ³ / ₄)	9650 (380)	12070 (475 ¹ / ₂)	14500 (571)
b		x-305 (x-12)	x-457 (x-18)	x-610 (x-24)	x-762 (x-30)	x-914 (x-36)	x-1143 (x-45)	x-1372 (x-54)	x-1524 (x-60)	x-1905 (x-75 ¹ / ₈)	x-2286 (x-90 ¹ / ₈)
c		x-392 (x-15 ¹ / ₂)	x-544 (x-21 ¹ / ₂)	x-697 (x-27 ¹ / ₂)	x-849 (x-33 ¹ / ₂)	x-1002 (x-39 ¹ / ₂)	x-1230 (x-48 ¹ / ₂)	x-1459 (x-57 ¹ / ₂)	x-1611 (x-63 ¹ / ₂)	x-1992 (x-78 ¹ / ₂)	x-2373 (x-93 ¹ / ₂)

$$a(N) = \{(SS \times 37.138 / 0.98268) - 54.422\} \times 1.025$$

$$a(M) = \{(SS \times 48.889 / 0.98268) - 53.731\} \times 0.975$$

$$b = x - (SS / 0.98268 \times 7.488)$$

$$c = x - (SS / 0.98268 \times 7.488 + 87.2)$$

各レンズの設置寸法と計算方法を上記に示します。

表および計算式のアルファベットは以下の意味を示します。

SS : スクリーンサイズ対角 (インチ)

a : レンズの中心からスクリーンまでの距離

b : 床からレンズの中心までの距離

c : 床からプロジェクターの脚までの距離

x : 任意

N : 最小値

M : 最大値

The installation measurements and their calculation method for each lens are shown above.

The alphabetical letters in the charts and calculation methods indicate the following.

SS : screen size measured diagonally (inches)

a : distance between the screen and the center of the lens

b : distance between the floor and the center of the lens

c : distance between the floor and the bottom of the adjusters of the projector

x : free

N : minimum

M : maximum

Les mesures d'installation et leur méthode de calcul pour chaque objectif sont indiquées ci-dessus.

Les caractères alphabétiques dans l'illustration indiquent ce qui suit.

SS : dimension de l'écran en diagonale (pouces)

a : distance entre l'écran et le centre de l'objectif

b : distance entre le sol et le centre de l'objectif

c : distance entre le sol et la base des pieds réglables du projecteur

x : libre

N : minimum

M : maximum

Diagrama de instalación

Instalación en el suelo
(proyección frontal)

Installations-diagramm

Installation am Boden
(Frontprojektion)

Diagramma di installazione

Installazione sul pavimento
(proiezione frontale)

■ VPLL-ZM102

単位 : mm (インチ) / Unit: mm (inches) / Unité: mm (pouces) / Unidad: mm (pulgadas) / Einheit: mm (Zoll) / Unità: mm (pollici)

SS		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	N	2610 (102 3/4)	4000 (157 5/8)	5390 (212 1/2)	6790 (267 1/4)	8180 (322 1/8)	10270 (404 3/8)	12360 (486 5/8)	13750 (541 1/2)	17230 (678 1/2)	20710 (815 5/8)
	M	3920 (154 5/8)	5970 (235)	8010 (315 1/2)	10060 (396)	12100 (476 1/2)	15170 (597 1/8)	18230 (717 7/8)	20270 (798 3/8)	25380 (999 1/2)	30490 (1200 3/4)
b		x-305 (x-12)	x-457 (x-18)	x-610 (x-24)	x-762 (x-30)	x-914 (x-36)	x-1143 (x-45)	x-1372 (x-54)	x-1524 (x-60)	x-1905 (x-75 1/8)	x-2286 (x-90 1/8)
c		x-392 (x-15 1/2)	x-544 (x-21 1/2)	x-697 (x-27 1/2)	x-849 (x-33 1/2)	x-1002 (x-39 1/2)	x-1230 (x-48 1/2)	x-1459 (x-57 1/2)	x-1611 (x-63 1/2)	x-1992 (x-78 1/2)	x-2373 (x-93 1/2)

$$a(N) = \{(SS \times 67.077 / 0.98268) - 172.01\} \times 1.02$$

$$a(M) = \{(SS \times 102.47 / 0.98268) - 166.84\} \times 0.98$$

$$b = x - (SS / 0.98268 \times 7.488)$$

$$c = x - (SS / 0.98268 \times 7.488 + 87.2)$$

Las medidas de instalación y sus métodos de cálculo para cada objetivo se muestran anteriormente.

Las letras alfabéticas de las tablas y los métodos de cálculo indican lo siguiente.

SS : tamaño de pantalla medida diagonalmente (pulgadas)

a : distancia entre la pantalla y el centro del objetivo

b : distancia entre el suelo y el centro del objetivo

c : distancia entre el suelo y la base de los ajustadores del proyector

x : libre

N : mínimo

M : máximo

Die Installationsabmessungen und das jeweilige Berechnungsverfahren für die einzelnen Objekte sind oben angegeben.

Die Buchstaben in den Tabellen und den Berechnungsverfahren haben folgende Bedeutung:

SS : Projektionsschirmgröße in Zoll, diagonal gemessen

a : Abstand zwischen dem Projektionsschirm und der Mitte des Objektivs

b : Abstand zwischen dem Boden und der Mitte des Objektivs

c : Abstand zwischen dem Boden und der Unterseite der Ausgleichfüße des Projektors

x : frei

N : Mindestens

M : Höchstens

Le misure di installazione e il loro metodo di calcolo per ogni obiettivo sono mostrati qui sopra.

Le lettere nei diagrammi e i metodi di calcolo indicano quanto segue.

SS : dimensione schermo misurata diagonalmente (pollici)

a : distanza fra lo schermo e il centro dell'obiettivo

b : distanza tra il pavimento e il centro dell'obiettivo

c : distanza fra il pavimento e la base dei dispositivi di regolazione del proiettore

x : libero

N : Minima

M : Massima

天井つり、フロント投影

Ceiling Installation
(Front Projection)Installation au plafond
(projection frontale)**B**

天井への

取り付け穴

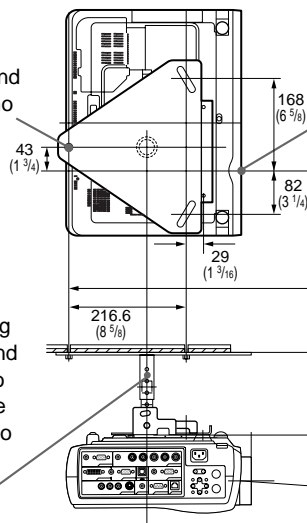
Ceiling mounting hole

L'orifice de montage au plafond

El orificio de montaje del techo

Deckenmontageloch

Foro di montaggio sul soffitto



レンズの中心 (水平)

Center of the lens (H)

Centre de l'objectif (H)

Centro del objetivo (H)

Mitte des Objektivs (H)

Centro dell'obiettivo (O)

スクリーンの中心 (水平)

Center of the screen (H)

Centre de l'écran (H)

Centro de la pantalla (H)

Mitte des Projektionsschirms (H)

Centro dello schermo (O)

天井

Ceiling

Plafond

Techo

Decke

Soffitto

プロジェクターサスペンションサポートPSS-610 (別売り)

PSS-610 Projector Suspension Support (not supplied)

Support de suspension pour projecteur PSS-610 (non fourni)

Soporte de suspensión para proyector PSS-610 (no suministrado)

Projektoraufhängung PSS-610 (nicht mitgeliefert)

Supporto di sospensione del proiettore PSS-610 (non in dotazione)

スクリーンの中心 (上下)

Center of the screen (V)

Centre de l'écran (V)

Centro de la pantalla (V)

Mitte des Projektionsschirms (V)

Centro dello schermo (V)

プロジェクターを天井からつり下げて設置する場合の設置例を示します。(B、C)

天井つりの場合は、プロジェクターサスペンションサポートPSS-610をご使用ください。設置は、代理店またはソニーサービスにおまかせください。

設置寸法については、52、53ページの表をご覧ください。

イラスト中のアルファベットは、以下の距離を示します。

a' : PSS-610天井用マウントブラケット穴中心 (後側)スクリーンまでの距離

a'' : SET 底面PSS-610取り付け穴 (前側) からスクリーンまでの距離

b : 天井からプロジェクターマウントブラケット取り付け面間での距離

アジャストメントパイプ(b)を使った場合 :

150/175/200 mm

アジャストメントパイプ(c)を使った場合 :

250/275/300 mm

x : 天井からスクリーンの中心までの距離

This section describes the examples for installing the projector on the ceiling.

(B and C)

When installing the projector on the ceiling, use the PSS-610 Projector Suspension Support.

For ceiling installation, ask for qualified Sony personnel only.

See the charts on pages 52 to 53 concerning the installation measurements.

The alphabetical letters in the illustration indicate the distances below.

a' : distance from the center of upper ceiling mount bracket hole (rear) to the screen

a'' : distance from PSS-610 mounting hole (front) on bottom surface of set to screen

b : distance between the ceiling and the surface of the mounting bracket
Using adjustment pipe (b):
150/175/200 mm (6/7/7 7/8 inches)
Using adjustment pipe (c):
250/275/300 mm (9 7/8 /10 7/8 /11 7/8 inches)

x : distance between the ceiling and the center of the screen

Cette section décrit des exemples d'installation du projecteur au plafond.

(B et C)

Lorsque vous installez le projecteur au plafond, utilisez le support de suspension pour projecteur PSS-610.

Pour une installation au plafond, adressez-vous uniquement à un personnel qualifié Sony.

Reportez-vous aux tableaux des pages 52 à 53 sur les mesures d'installation.

Les caractères alphabétiques dans l'illustration indiquent les distances ci-dessous.

a' : distance entre le centre de l'orifice (arrière) du haut du support de montage au plafond et l'écran

a'' : distance entre l'orifice (avant) de montage du PSS-610 sur la face inférieure du projecteur et l'écran

b : distance entre le plafond et la surface du support de montage

Utilisation du tube de réglage (b):
150/175/200 mm (6/7/7 7/8 pouces)

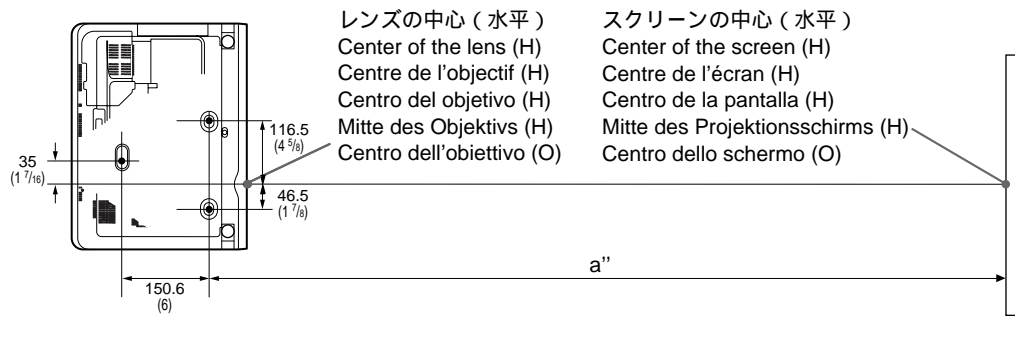
Utilisation du tube de réglage (c):
250/275/300 mm (9 7/8 /10 7/8 /11 7/8 pouces)

x : distance entre le plafond et le centre de l'écran

Instalación en el techo (proyección frontal)

Installation an der Decke (Frontprojektion)

Installazione sul soffitto (proiezione frontale)



レンズの中心 (水平)
Center of the lens (H)
Centre de l'objectif (H)
Centro del objetivo (H)
Mitte des Objektivs (H)
Centro dell'obiettivo (O)

スクリーンの中心 (水平)
Center of the screen (H)
Centre de l'écran (H)
Centro de la pantalla (H)
Mitte des Projektionsschirms (H)
Centro dello schermo (O)

水平 : 水平方向、上下 : 上下方向

H: horizontal direction, V: vertical direction

H: sens horizontal, V: sens vertical

H: dirección horizontal, V: dirección vertical

H: horizontale Richtung, V: vertikale Richtung

O: direzione orizzontale, V: direzione verticale

単位 : mm (インチ) / Unit: mm (inches) /
Unité : mm (pouces) / Unidad: mm (pulgadas) /
Einheit: mm (Zoll) / Unità: mm (pollici)

En esta sección se muestran ejemplos para instalar el proyector en el techo. **(B y C)** Para instalar el proyector en el techo, utilice el soporte de suspensión para proyector PSS-610.

Para realizar la instalación en el techo, solicite asistencia técnica únicamente a personal especializado de Sony.

Consulte las tablas de las páginas 52 a 53 en relación con las medidas de instalación.

Las letras alfabéticas de la ilustración indican las distancias mostradas a continuación.

- a' : distancia desde el centro del orificio de la fijación de montaje de techo superior (trasero) hasta la pantalla
- a'' : distancia desde el orificio de montaje del PSS-610 (frontal), en la superficie inferior del aparato, hasta la pantalla
- b : distancia entre el techo y la base del proyector
Uso del tubo de ajuste (b):
150/175/200 mm (6/7/7 7/8 pulgadas)
Uso del tubo de ajuste (c):
250/275/300 mm (9 7/8 /10 7/8 /11 7/8 pulgadas)
- x : distancia entre el techo y el centro de la pantalla

In diesem Abschnitt finden Sie Beispiele für das Installieren des Projektors an der Decke. **(B und C)**

Zur Installation des Projektors an der Decke benötigen Sie die Projektoraufhängung PSS-610.

Wenn Sie das Gerät an der Decke montieren wollen, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Sony-Personal.

In den Tabellen auf Seite 52 bis 53 finden Sie die Installationsabmessungen.

Die Buchstaben in der Abbildung beziehen sich auf die unten beschriebenen Abstände.

- a' : Abstand von der Mitte des oberen Deckenhalterlochs (hinten) zur Leinwand
- a'' : Abstand vom Montageloch des PSS-610 (vorn) an der Unterseite des Gerätes zur Leinwand
- b : Abstand zwischen der Decke und der Oberfläche der Halterung
Mit Einstellrohr (b): 150/175/200 mm
Mit Einstellrohr (c): 250/275/300 mm
- x : Abstand zwischen der Decke und der Mitte des Projektionsschirms

Questa sezione descrive gli esempi di installazione al soffitto del proiettore.

(B e C)

Quando viene installato il proiettore sul soffitto utilizzare il supporto di sospensione del proiettore PSS-610.

Per l'installazione al soffitto, rivolgersi esclusivamente a personale qualificato Sony.

Vedere i diagrammi da pagina 52 a pagina 53 relative alle misure di installazione.

Le lettere nell'illustrazione indicano le distanze descritte di seguito.

- a' : distanza dal centro del foro (posteriore) della staffa superiore di montaggio sul soffitto allo schermo
- a'' : distanza dal foro di montaggio (anteriore) del PSS-610 sul fondo dell'apparecchiatura allo schermo
- b : distanza fra il soffitto e la superficie della staffa di montaggio
Utilizzando il tubo di regolazione (b):
150/175/200 mm
Utilizzando il tubo di regolazione (c):
250/275/300 mm
- x : distanza tra il soffitto e il centro dello schermo

天井つり、フロント投影

Ceiling Installation (Front Projection)

Installation au plafond (projection frontale)

■ 標準レンズ / Standard lens / Objectif standard / Objetivo estándar / Standardobjektiv / Uso Obiettivo standard

単位 : mm (インチ) / Unit: mm (inches) / Unité: mm (pouces) / Unidad: mm (pulgadas) / Einheit: mm (Zoll) / Unità: mm (pollici)

PSS-610使用時 / When using PSS-610 / Lors de l'utilisation du PSS-610 / Cuando se utiliza el PSS-610 / Bei Verwendung des PSS-610 / Quando viene utilizzato il PSS-610

SS		80	100	120	150	180	200	250	300
a'	N	3350 (132 1/8)	4130 (162 5/8)	4900 (193 1/8)	6070 (238 7/8)	7230 (284 5/8)	8000 (315 1/8)	9940 (391 3/8)	11880 (467 5/8)
	M	4140 (163)	5110 (201 1/4)	6080 (239 3/8)	7530 (296 3/4)	8990 (354)	9960 (392 1/4)	12380 (487 3/4)	14810 (583 1/4)
x		b+693 (b+27 3/8)	b+846 (b+33 3/8)	b+998 (b+39 3/8)	b+1227 (b+48 3/8)	b+1455 (b+57 3/8)	b+1608 (b+63 3/8)	b+1989 (b+78 3/8)	b+2370 (b+93 3/8)
b		P							

PSS-610以外 / When using equipment other than PSS-610 / Lors de l'utilisation d'un autre matériel que le PSS-610 / Cuando se utiliza un equipo diferente del PSS-610 / Bei Verwendung einer anderen Vorrichtung als PSS-610 / Quando viene utilizzata un'apparecchiatura diversa dal PSS-610

SS		80	100	120	150	180	200	250	300
a''	N	3110 (122 1/2)	3880 (153)	4660 (183 1/2)	5820 (229 1/4)	6980 (275)	7760 (305 1/2)	9690 (381 3/4)	11630 (458)
	M	3890 (153 3/8)	4860 (191 1/2)	5830 (229 3/4)	7290 (287)	8740 (344 3/8)	9710 (382 1/2)	12140 (478)	14560 (573 1/2)
x		b+693 (b+27 3/8)	b+846 (b+33 3/8)	b+998 (b+39 3/8)	b+1227 (b+48 3/8)	b+1455 (b+57 3/8)	b+1608 (b+63 3/8)	b+1989 (b+78 3/8)	b+2370 (b+93 3/8)
b		P							

$$a(N) = \{(SS \times 37.138/0.98268) - 54.422\} \times 1.025 \quad a' = a + 93.9 + 216.6 = a + 310.5$$

$$a(M) = \{(SS \times 48.889/0.98268) - 53.731\} \times 0.975 \quad a'' = a + 64.9$$

$$x = b + (SS/0.98268 \times 7.488) + 83.8$$

各レンズの設置寸法と計算方法を上記に示します。

The installation measurements and their calculation method for each lens are shown above.

Les mesures d'installation et leur méthode de calcul pour chaque objectif sont indiquées ci-dessus.

表および計算式のアルファベットは以下の意味を示します。

The alphabetical letters in the charts and calculation methods indicate the following.

Les caractères alphabétiques dans l'illustration indiquent ce qui suit.

SS : スクリーンサイズ対角 (インチ)

SS : screen size measured diagonally (inches)

SS : dimension de l'écran en diagonale (pouces)

a : レンズの中心からスクリーンまでの距離

a : distance between the screen and the center of the lens

a : distance entre l'écran et le centre de l'objectif

a' : PSS-610 天井用マウントブラケット穴中心 (後側) スクリーンまでの距離

a' : distance from the center of upper ceiling mount bracket hole (rear) to the screen

a' : distance entre le centre de l'orifice (arrière) du haut du support de montage au plafond et l'écran

a'' : SET 底面 PSS-610 取り付け穴 (前側) からスクリーンまでの距離

a'' : distance from PSS-610 mounting hole (front) on bottom surface of set to screen

a'' : distance entre l'orifice (avant) de montage du PSS-610 sur la face inférieure du projecteur et l'écran

b : 天井からプロジェクターマウントブラケット取り付け面間での距離

b : distance between the ceiling and the surface of the mounting bracket

b : distance entre le plafond et la surface du support de montage

x : 天井からスクリーンの中心までの距離

x : distance between the ceiling and the center of the screen

x : distance entre le plafond et le centre de l'écran

N : 最小値

N : minimum

N : minimum

M : 最大値

M : maximum

M : maximum

P : PSS-610をご使用にならないときは、任意で数値を設定してください。

P : If you are not using the PSS-610, you may set any value that you desire.

P : Si vous n'utilisez pas le PSS-610, vous pouvez spécifier une valeur quelconque de votre choix.

アジャストメントパイプ(b)を使った場合 : 150/175/200 mm

Using adjustment pipe (b): 150/175/200 mm (6/7/7 7/8 inches)

Utilisation du tube de réglage (b): 150/175/200 mm (6/7/7 7/8 pouces)

アジャストメントパイプ(c)を使った場合 : 250/275/300 mm

Using adjustment pipe (c): 250/275/300 mm (9 7/8 / 10 7/8 / 11 7/8 inches)

Utilisation du tube de réglage (c): 250/275/300 mm (9 7/8 / 10 7/8 / 11 7/8 pouces)

Instalación en el techo (proyección frontal)

Installation an der Decke (Frontprojektion)

Installazione sul soffitto (proiezione frontale)

■ VPLL-ZM102

単位 : mm (インチ) / Unit: mm (inches) / Unité: mm (pouces) / Unidad: mm (pulgadas) / Einheit: mm (Zoll) / Unità: mm (pollici)

PSS-610使用時 / When using PSS-610 / Lors de l'utilisation du PSS-610 / Cuando se utiliza el PSS-610 / Bei Verwendung des PSS-610 / Quando viene utilizzato il PSS-610

SS		80	100	120	150	180	200	250	300
a'	N	5740 (226 1/8)	7130 (280 7/8)	8530 (335 3/4)	10610 (418)	12700 (500 1/4)	14100 (555 1/8)	17580 (692 1/8)	21060 (829 1/4)
	M	8360 (329 1/8)	10400 (409 5/8)	12450 (490 1/8)	15510 (610 7/8)	18580 (731 1/2)	20620 (812)	25730 (1013 1/4)	30840 (1214 3/8)
x		b+693 (b+27 3/8)	b+846 (b+33 3/8)	b+998 (b+39 3/8)	b+1227 (b+48 3/8)	b+1455 (b+57 3/8)	b+1608 (b+63 3/8)	b+1989 (b+78 3/8)	b+2370 (b+93 3/8)
b		P							

PSS-610以外 / When using equipment other than PSS-610 / Lors de l'utilisation d'un autre matériel que le PSS-610 / Cuando se utiliza un equipo diferente del PSS-610 / Bei Verwendung einer anderen Vorrichtung als PSS-610 / Quando viene utilizzata un'apparecchiatura diversa dal PSS-610

SS		80	100	120	150	180	200	250	300
a''	N	5500 (216 3/8)	6890 (271 1/4)	8280 (326 1/8)	10370 (408 3/8)	12460 (490 5/8)	13850 (545 3/8)	17330 (682 1/2)	20810 (819 1/2)
	M	8110 (319 1/2)	10160 (400)	12200 (480 1/2)	15270 (601 1/8)	18330 (721 7/8)	20380 (802 3/8)	25490 (1003 1/2)	30590 (1204 3/4)
x		b+693 (b+27 3/8)	b+846 (b+33 3/8)	b+998 (b+39 3/8)	b+1227 (b+48 3/8)	b+1455 (b+57 3/8)	b+1608 (b+63 3/8)	b+1989 (b+78 3/8)	b+2370 (b+93 3/8)
b		P							

a (N) = {(SS × 67.077/0.98268) – 172.01} × 1.02 a' = a + 129.9 + 216.6 = a + 346.5

a (M) = {(SS × 102.47/0.98268) – 166.84} × 0.98 a'' = a + 100.9

x = b + (SS/0.98268 × 7.488) + 83.8

Las medidas de instalación y sus métodos de cálculo para cada objetivo se muestran anteriormente.

Die Installationsabmessungen und das jeweilige Berechnungsverfahren für die einzelnen Objekte sind oben angegeben.

Le misure di installazione e il loro metodo di calcolo per ogni obiettivo sono mostrati qui sopra.

Las letras alfabéticas de las tablas y los métodos de cálculo indican lo siguiente.

SS : tamaño de pantalla medida diagonalmente (pulgadas)

a : distancia entre la pantalla y el centro del objetivo

a' : distancia desde el centro del orificio de la fijación de montaje de techo superior (trasero) hasta la pantalla

a'' : distancia desde el orificio de montaje del PSS-610 (frontal), en la superficie inferior del aparato, hasta la pantalla

b : distancia entre el techo y la base del proyector

x : distancia entre el techo y el centro de la pantalla

N : mínimo

M : máximo

P : Si no está utilizando el PSS-610, puede establecer cualquier valor que desee.

Uso del tubo de ajuste (b):
150/175/200 mm (6/7/7 7/8 pulgadas)

Uso del tubo de ajuste (c):
250/275/300 mm (9 7/8 /10 7/8 /11 7/8 pulgadas)

Die Buchstaben in den Tabellen und den Berechnungsverfahren haben folgende Bedeutung:

SS : Projektionsschirmgröße in Zoll, diagonal gemessen

a : Abstand zwischen dem Projektionsschirm und der Mitte des Objektivs

a' : Abstand von der Mitte des oberen Deckenhalterlochs (hinten) zur Leinwand

a'' : Abstand vom Montageloch des PSS-610 (vorn) an der Unterseite des Gerätes zur Leinwand

b : Abstand zwischen der Decke und der Oberfläche der Hlaterung

x : Abstand zwischen der Decke und der Mitte des Projektionsschirms

N : Mindestens

M : Höchstens

P : Wenn Sie den PSS-610 nicht benutzen, können Sie einen beliebigen Wert einstellen.

Mit Einstellrohr (b): 150/175/200 mm

Mit Einstellrohr (c): 250/275/300 mm

Le lettere nei diagrammi e i metodi di calcolo indicano quanto segue.

SS : dimensione schermo misurata diagonalmente (pollici)

a : distanza fra lo schermo e il centro dell'obiettivo

a' : distanza dal centro del foro (posteriore) della staffa superiore di montaggio sul soffitto allo schermo

a'' : distanza dal foro di montaggio (anteriore) del PSS-610 sul fondo dell'apparecchiatura allo schermo

b : distanza fra il soffitto e la superficie della staffa di montaggio

x : distanza tra il soffitto e il centro dello schermo

N : Minima

M : Massima

P : Se non viene utilizzato il PSS-610, impostare un valore qualsiasi.

Utilizzando il tubo di regolazione (b):
150/175/200 mm

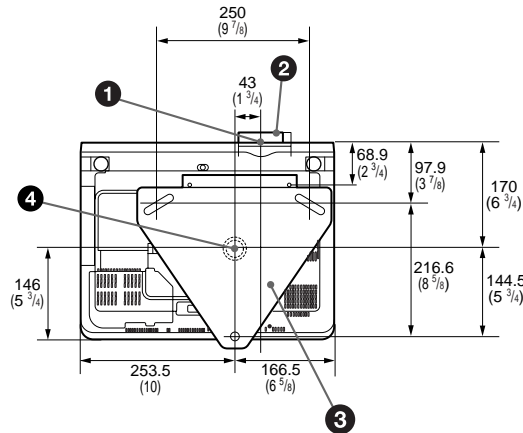
Utilizzando il tubo di regolazione (c):
250/275/300 mm

プロジェクターサスペンション サポートPSS-610を取り付け た場合の寸法図

Detailed view of the mounting when using the projector suspension support PSS-610

Vue détaillée du montage lors de l'utilisation du support de suspension du projecteur PSS-610

D



天井への設置に関して詳しくは、PSS-610の取付説明書をご覧ください。ここでは、本機をPSS-610を使って天井に取り付けた場合の寸法について説明します。

上から見た図 **D**

前から見た図 **E**

b) 天井からプロジェクターマウントブラケット取り付け面間での距離

アジャストメントパイプ(b)を使った場合：
150/175/200 mm

アジャストメントパイプ(c)を使った場合：
250/275/300 mm

レンズの中心は、支柱の中心より右側に43 mmずれています。天井に設置するときは、支柱の中心ではなくレンズの中心とスクリーンの中心を合わせてください。

横から見た図 **F**

b) 天井からプロジェクターマウントブラケット取り付け面間での距離

アジャストメントパイプ(b)を使った場合：
150/175/200 mm

アジャストメントパイプ(c)を使った場合：
250/275/300 mm

① レンズ水平方向中心

② レンズ前面（標準レンズはセット本体前面より内側に4mm。ZM102では外側に32mm、FM22では外側に6mm。）

③ 天井用マウントブラケット

④ 支柱の中心

⑤ プロジェクターマウントブラケット取り付け面

⑥ レンズ中心

⑦ レンズ垂直方向中心

For more details on the ceiling installation, refer to the Installation manual for Dealers of the PSS-610. The installation measurements are shown above when you install the projector on the ceiling.

Top view **D**

Front view **E**

b) Distance between the ceiling and the surface of the mounting bracket

Using adjustment pipe (b):
150/175/200 mm (6/7/7 7/8 inches)

Using adjustment pipe (c):
250/275/300 mm (9 7/8 /10 7/8 /11 7/8 inches)

The lens is offset 43 mm (1 3/4 inches) to the right from the center of the supporting pole. When mounting, take care to align the center of the lens with the center of the screen; not the center of the supporting pole.

Side view **F**

b) Distance between the ceiling and the surface of the mounting bracket

Using adjustment pipe (b):
150/175/200 mm (6/7/7 7/8 inches)

Using adjustment pipe (c):
250/275/300 mm (9 7/8 /10 7/8 /11 7/8 inches)

① Center of the lens in the horizontal direction

② Front of the lens (The standard lens is recessed 4mm inside of the front of the set. In the ZM102, the lens protrudes 32mm from the front of the set. In the FM22, the lens protrudes 6mm from the front of the set.)

③ Upper ceiling mount bracket

④ Center of the supporting pole

⑤ The surface of the mounting bracket

⑥ Center of the lens

⑦ Center of the lens in the vertical direction

Pour plus de détails sur l'installation au plafond, reportez-vous au manuel d'installation pour les revendeurs du PSS-610. Les dimensions d'installation pour le montage au plafond sont indiquées ci-dessus.

Vue du dessus **D**

Vue frontale **E**

b) Distance entre le plafond et la surface du support de montage

Utilisation du tube de réglage (b):
150/175/200 mm (6/7/7 7/8 pouces)

Utilisation du tube de réglage (c):
250/275/300 mm (9 7/8 /10 7/8 /11 7/8 pouces)

L'objectif est décalé de 43 mm (1 3/4 pouces) vers la droite du centre du pivot de support. Au moment du montage, veuillez à aligner correctement le centre de l'objectif sur le centre de l'écran; pas le centre du pivot de support.

Vue latérale **F**

b) Distance entre le plafond et la surface du support de montage

Utilisation du tube de réglage (b):
150/175/200 mm (6/7/7 7/8 pouces)

Utilisation du tube de réglage (c):
250/275/300 mm (9 7/8 /10 7/8 /11 7/8 pouces)

① Centre de l'objectif dans le sens horizontal

② Avant de l'objectif (L'objectif standard est en retrait de 4 mm par rapport à la face avant du projecteur. Le ZM102 est en retrait de 32 mm. Le FM22 est en retrait de 6 mm.)

③ Support de montage de plafond supérieur

④ Centre du pivot de support

⑤ La surface du support de montage

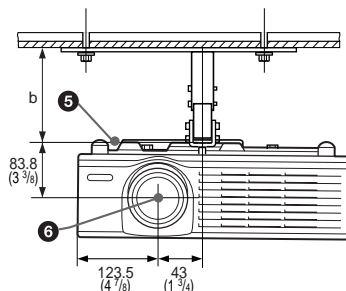
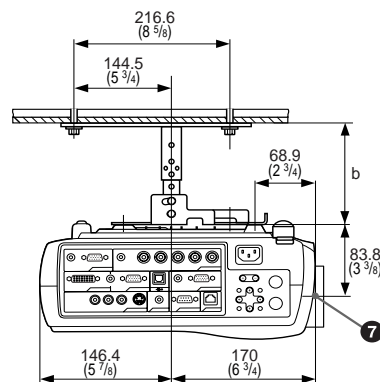
⑥ Centre de l'objectif

⑦ Centre de l'objectif dans le sens vertical

Vista detallada del montaje cuando se utiliza el soporte de suspensión del proyector PSS-610

Detailansicht der Montage bei Verwendung des Projektor-Deckenhalters PSS-610

Vista dettagliata del montaggio quando viene usato il supporto per appendere il proiettore PSS-610

E**F**

単位 : mm (インチ) / Unit: mm (inches) / Unité: mm (pouces) / Unidad: mm (pulgadas) / Einheit: mm (Zoll) / Unità: mm (pollici)

Para más información sobre la instalación en el techo, consulte el manual de instalación para proveedores de la unidad PSS-610. Las medidas de instalación se muestran anteriormente para cuando instale el proyector en el techo.

Vista superior **D**

Vista frontal **E**

- b) Distancia entre el techo y la base del proyector
 Uso del tubo de ajuste (b):
 150/175/200 mm (6/7/7 7/8 pulgadas)
 Uso del tubo de ajuste (c):
 250/275/300 mm (9 7/8 /10 7/8 /11 7/8 pulgadas)

El objetivo está desplazado 43 mm (1 3/4 pulgadas) a la derecha del centro de la columna de soporte. Al realizar el montaje, alinee el centro del objetivo con el centro de la pantalla y no con el centro de la columna de soporte.

Vista lateral **F**

- b) Distancia entre el techo y la base del proyector
 Uso del tubo de ajuste (b):
 150/175/200 mm (6/7/7 7/8 pulgadas)
 Uso del tubo de ajuste (c):
 250/275/300 mm (9 7/8 /10 7/8 /11 7/8 pulgadas)

- 1 Centro del objetivo en dirección horizontal
- 2 Parte frontal del objetivo (El objetivo estándar se oculta 4 mm respecto a la parte frontal del aparato. En el ZM102, el objetivo sobresale 32 mm de la parte frontal del aparato. En el FM22, el objetivo sobresale 6 mm.)
- 3 Soporte de montaje superior para techo
- 4 Centro de la columna de soporte
- 5 La base del proyector
- 6 Centro del objetivo
- 7 Centro del objetivo en dirección vertical

Näheres zur Deckenmontage finden Sie in der Installationsanleitung zur PSS-610 für Händler. Die Installationsabmessungen für das Montieren des Projektors an der Decke sind oben angegeben.

Draufsicht **D**

Vorderansicht **E**

- b) Abstand zwischen der Decke und der Oberfläche der Hlaterung
 Mit Einstellrohr (b): 150/175/200 mm
 Mit Einstellrohr (c): 250/275/300 mm
 Das Objektiv am Projektor ist 43 mm nach rechts von der Mitte des Ständers versetzt. Achten Sie beim Installieren darauf, die Mitte des Objektivs, nicht die Mitte des Ständers, an der Mitte des Projektionsschirms auszurichten.

Seitenansicht **F**

- b) Abstand zwischen der Decke und der Oberfläche der Hlaterung
 Mit Einstellrohr (b): 150/175/200 mm
 Mit Einstellrohr (c): 250/275/300 mm
- 1 Mitte des Objektivs in horizontaler Richtung
 - 2 Vorderseite des Objektivs (Das Standard-Objektiv ist um 4 mm von der Vorderseite des Gerätes versenkt. Beim ZM102 steht das Objektiv 32 mm von der Vorderseite des Gerätes über. Beim FM22 steht das Objektiv 6 mm von der Vorderseite des Gerätes über.)
 - 3 Deckenmontagehalterung
 - 4 Mitte des Ständers
 - 5 Der Oberfläche der Hlaterung
 - 6 Mitte des Objektivs
 - 7 Mitte des Objektivs in vertikaler Richtung

Per ulteriori informazioni sull'installazione al soffitto, fare riferimento al manuale di installazione per rivenditori relativo al supporto di sospensione PSS-610. Le misure di installazione per l'installazione al soffitto sono indicate di seguito.

Vista dall'alto **D**

Vista frontale **E**

- b) Distanza fra il soffitto e la superficie della staffa di montaggio
 Utilizzando il tubo di regolazione (b):
 150/175/200 mm
 Utilizzando il tubo di regolazione (c):
 250/275/300 mm

Rispetto al centro per l'asta di supporto, la lente del proiettore è spostata verso destra di 43 mm. Durante il montaggio, assicurarsi di allineare il centro della lente del proiettore e non il centro per l'asta di supporto con il centro dello schermo.

Vista laterale **F**

- b) Distanza fra il soffitto e la superficie della staffa di montaggio
 Utilizzando il tubo di regolazione (b):
 150/175/200 mm
 Utilizzando il tubo di regolazione (c):
 250/275/300 mm

- 1 Centro dell'obiettivo nella direzione orizzontale
- 2 Parte anteriore della lente (L'obiettivo standard è rientrato di 4 mm all'interno della parte anteriore dell'apparecchiatura. Nel ZM102, l'obiettivo sporge di 32 mm dalla parte anteriore dell'apparecchiatura. Nell'FM22, l'obiettivo sporge di 6 mm dalla parte anteriore dell'apparecchiatura.)
- 3 Staffa di montaggio al soffitto
- 4 Centro per l'asta di supporto
- 5 La superficie della staffa di montaggio
- 6 Centro della lente
- 7 Centro dell'obiettivo nella direzione verticale

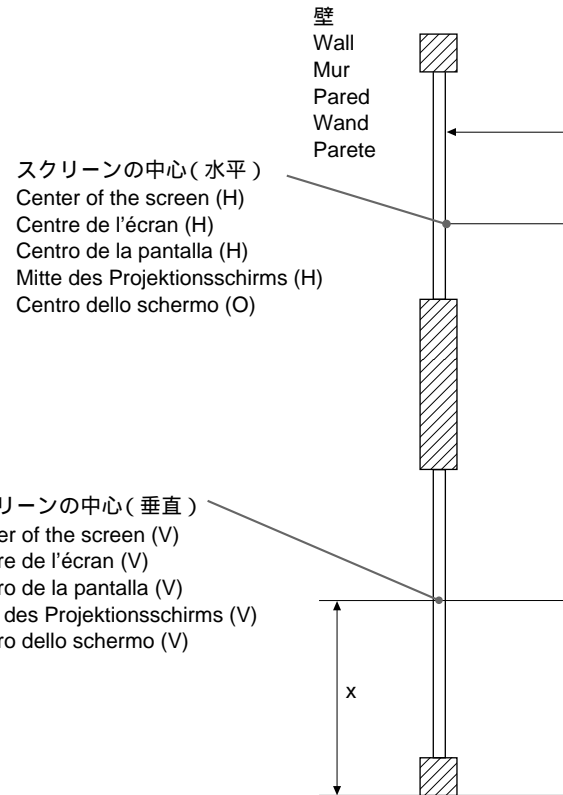
床置き、リア投影(打ち込み角0°)

Floor Installation (Rear Projection: Optical Axis Angle 0 Degree)

Installation au sol (Rétroprojection: angle d'axe optique de 0 degré)

G

水平：水平方向、上下：上下方向
 H: horizontal direction, V: vertical direction
 H: sens horizontal, V: sens vertical
 H: dirección horizontal, V: dirección vertical
 H: horizontale Richtung, V: vertikale Richtung
 O: direzione orizzontale, V: direzione verticale



프로젝터를スクリーンの後ろに置いて設置する場合の設置例を示します。G

This section describes the examples for installing the projector behind the screen, etc. G

Cette section décrit les exemples d'installation du projecteur derrière l'écran, etc. G

設置寸法については、58、59ページの表をご覧ください。

See the charts on pages 58 and 59 concerning the installation measurements.

Reportez-vous aux tableaux des pages 58 à 59 sur les mesures d'installation.

イラスト中のアルファベットは、以下の距離を示します。

The alphabetical letters in the illustration indicate the distances below.

Les caractères alphabétiques dans l'illustration indiquent les distances ci-dessous.

- a: SET 底面 PSS-610 取り付け穴(前側)からスクリーンまでの距離
- b: 床からレンズの中心までの距離
- c: 床からプロジェクターの脚までの距離
- x: 任意

- a": distance from PSS-610 mounting hole (front) on bottom surface of set to screen
- b: distance between the floor and the center of the lens
- c: distance between the floor and the bottom of the adjusters of the projector
- x: free

- a": distance entre l'orifice (avant) de montage du PSS-610 sur la face inférieure du projecteur et l'écran
- b: distance entre le sol et le centre de l'objectif
- c: distance entre le sol et la base des pieds réglables du projecteur
- x: libre

ご注意

工場出荷時のままリア投影すると、電源を入れたときに画像が反転して現れます。また、鏡を用いた場合も画像が反転することがあります。その場合は、設置設定メニューの「画像反転」で文字が正しく映し出されるよう設定を変えてください。

Note

If the projector has been set at the factory and if you project a picture from the rear, the picture will be upside down. If you use a mirror, the picture may be reversed. In these cases, change the Image Flip in the INSTALL SETTING menu. For details, refer to the "INSTALL SETTING" menu in the Operating Instructions for your data projector.

Remarque

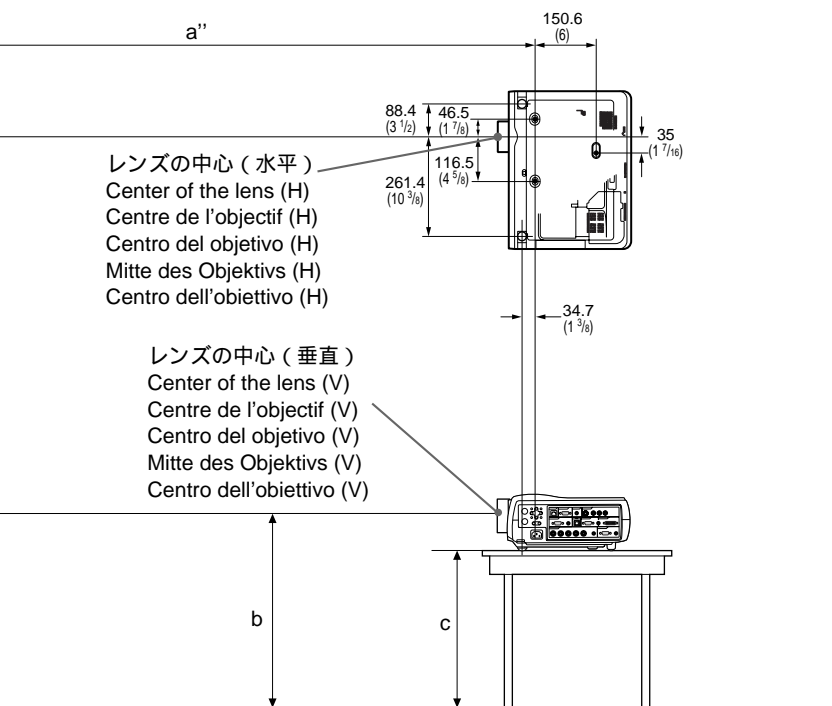
Si le projecteur est réglé par défaut et si vous rétroprojetez une image, l'image sera retournée. Vous pouvez redresser l'image en utilisant un miroir. Dans ces cas, changez Symétrie dans le menu REGL. INSTAL. Pour plus de détails, voir le menu "REGL. INSTAL." dans le mode d'emploi de votre projecteur de données.

詳しくは、データプロジェクター本体の取扱説明書の「設置設定メニュー」の項をご覧ください。

Instalación en el suelo (proyección posterior: ángulo de eje óptico de 0 grados)

Installation am Boden (Rückprojektion: Winkel der optischen Achse = 0 Grad)

Installazione sul pavimento (proiezione posteriore: grado zero dell'angolo di asse ottico)



単位 : mm (インチ)
Unit: mm (inches)
Unité: mm (pouces)
Unidad: mm (pulgadas)
Einheit: mm (Zoll)
Unità: mm (pollici)

En esta sección se muestran ejemplos para instalar el proyector detrás de la pantalla, etc. **G**

Consulte las tablas de las páginas 58 a 59 en relación con las medidas de instalación.

Las letras alfabéticas de la ilustración indican las distancias mostradas a continuación.

- a": distancia desde el orificio de montaje del PSS-610 (frontal), en la superficie inferior del aparato, hasta la pantalla
- b : distancia entre el suelo y el centro del objetivo
- c : distancia entre el suelo y la base de los ajustadores del proyector
- x : libre

Nota

Si el proyector se ha ajustado en fábrica y proyecta una imagen desde la parte posterior, la imagen aparecerá invertida. Si utiliza un espejo, es posible que aparezca al revés. En estos casos, cambie la opción Inversión imagen del menú AJUSTE INST.

Para obtener información más detallada, consulte el menú "AJUSTE INST" en las instrucciones de uso de su proyector de datos.

In diesem Abschnitt finden Sie Beispiele für das Installieren des Projektors hinter dem Projektionsschirm usw. **G**

In den Tabellen auf Seite 58 bis 59 finden Sie die Installationsabmessungen.

Die Buchstaben in der Abbildung beziehen sich auf die unten beschriebenen Abstände.

- a": Abstand vom Montageloch des PSS-610 (vorn) an der Unterseite des Gerätes zur Leinwand
- b : Abstand zwischen dem Boden und der Mitte des Objektivs
- c : Abstand zwischen dem Boden und der Unterseite der Ausgleichsfüße des Projektors
- x : frei

Hinweis

Wenn der Projektor werkseitig eingestellt wurde und Sie ein Bild mit dem Rückprojektionsverfahren projizieren, erscheint das Bild auf dem Kopf. Wenn Sie einen Spiegel verwenden, erscheint das Bild möglicherweise seitenverkehrt. Ändern Sie in diesem Fall die Einstellung für Bildumklappung im Menü ANFANGSWERTE.

Näheres können Sie im Abschnitt zum Menü "ANFANGSWERTE" in der Bedienungsanleitung Ihres Datenprojektors nachlesen.

Questa sezione descrive gli esempi di installazione del proiettore dietro allo schermo, ecc. **G**

Vedere i diagrammi da pagina 58 a pagina 59 relativi alle misure di installazione.

Le lettere nell'illustrazione indicano le distanze descritte di seguito.

- a": distanza dal foro di montaggio (anteriore) del PSS-610 sul fondo dell'apparecchiatura allo schermo
- b : distanza tra il pavimento e il centro dell'obiettivo
- c : distanza fra il pavimento e la base dei dispositivi di regolazione del proiettore
- x : libero

Nota

Se il proiettore è stato impostato in fabbrica e si proietta un'immagine dalla parte posteriore, l'immagine risulterà capovolta. Se si utilizza uno specchio, l'immagine potrebbe risultare invertita. In questi casi, modificare Gira immagine nel menu IMPOST.INST.

Per informazioni dettagliate, fare riferimento a al menu "IMPOST.INST" nelle istruzioni per l'uso de vostro proiettore di dati con schermo a cristalli liquidi.

床置き、リア投影(打ち込み角 0°)

Floor Installation (Rear Projection: Optical Axis Angle 0 Degree)

Installation au sol (Rétroprojection: angle d'axe optique de 0 degré)

■ 標準レンズ / Standard lens / Objectif standard / Objetivo estándar / Standardobjektiv / Uso Obiettivo standard

単位 : mm (インチ) / Unit: mm (inches) / Unité: mm (pouces) / Unidad: mm (pulgadas) / Einheit: mm (Zoll) / Unità: mm (pollici)

SS		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a''	N	1560 (61 3/8)	2330 (91 7/8)	3110 (122 1/2)	3880 (153)	4660 (183 1/2)	5820 (229 1/4)	6980 (275)	7760 (305 1/2)	9690 (381 3/4)	11630 (458)
	M	1950 (77)	2920 (115 1/8)	3890 (153 3/8)	4860 (191 1/2)	5830 (229 3/4)	7290 (287)	8740 (344 3/8)	9710 (382 1/2)	12140 (478)	14560 (573 1/2)
b		x (x)									
c		x-79.7 (x-3 1/4)									

$$a'' (N) = \{(SS \times 37.138/0.98268) - 54.422\} \times 1.025 + 64.9$$

$$a'' (M) = \{(SS \times 48.889/0.98268) - 53.731\} \times 0.975 + 64.9$$

$$b = x$$

$$c = x - 79.7$$

■ VPLL-ZM102

単位 : mm (インチ) / Unit: mm (inches) / Unité: mm (pouces) / Unidad: mm (pulgadas) / Einheit: mm (Zoll) / Unità: mm (pollici)

SS		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a''	N	2710 (106 3/4)	4100 (161 5/8)	5500 (216 3/8)	6890 (271 1/4)	8280 (326 1/8)	10370 (408 3/8)	12460 (490 5/8)	13850 (545 3/8)	17330 (682 1/2)	20810 (819 1/2)
	M	4030 (158 1/2)	6070 (239)	8110 (319 1/2)	10160 (400)	12200 (480 1/2)	15270 (601 1/8)	18330 (721 7/8)	20380 (802 3/8)	25490 (1003 1/2)	30590 (1204 3/4)
b		x (x)									
c		x-79.7 (x-3 1/4)									

$$a'' (N) = \{(SS \times 67.077/0.98268) - 172.01\} \times 1.02 + 100.9$$

$$a'' (M) = \{(SS \times 102.47/0.98268) - 166.84\} \times 0.98 + 100.9$$

$$b = x$$

$$c = x - 79.7$$

各レンズの設置寸法と計算方法を上記に示します。

表および計算式のアルファベットは以下の意味を示します。

SS : スクリーンサイズ対角(インチ)

a'' : SET 底面 PSS-610 取り付け穴(前側)からスクリーンまでの距離

b : 床からレンズの中心までの距離

c : 床からプロジェクターの脚までの距離

x : 任意

N : 最小値

M : 最大値

The installation measurements and their calculation method for each lens are shown above.

The alphabetical letters in the charts and calculation methods indicate the following.

SS : screen size measured diagonally (inches)

a'' : distance from PSS-610 mounting hole (front) on bottom surface of set to screen

b : distance between the floor and the center of the lens

c : distance between the floor and the bottom of the adjusters of the projector

x : free

N : minimum

M : maximum

Les mesures d'installation et leur méthode de calcul pour chaque objectif sont indiquées ci-dessus.

Les caractères alphabétiques dans l'illustration indiquent ce qui suit.

SS : dimension de l'écran en diagonale (pouces)

a'' : distance entre l'orifice (avant) de montage du PSS-610 sur la face inférieure du projecteur et l'écran

b : distance entre le sol et le centre de l'objectif

c : distance entre le sol et la base des pieds réglables du projecteur

x : libre

N : minimum

M : maximum

Instalación en el suelo
(proyección posterior: ángulo de eje óptico de 0 grados)

Installation am Boden
(Rückprojektion: Winkel der optischen Achse = 0 Grad)

Installazione sul pavimento
(proiezione posteriore: grado zero dell'angolo di asse ottico)

■ VPLL-FM22

単位 : mm (インチ) / Unit: mm (inches) / Unité: mm (pouces) / Unidad: mm (pulgadas) / Einheit: mm (Zoll) / Unità: mm (pollici)

SS	40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a"	760 (30)	1130 (44 1/2)	1500 (59 1/8)	1870 (73 5/8)	2240 (88 1/8)	2790 (109 7/8)	3340 (131 3/4)	3710 (146 1/4)	4640 (182 5/8)	5560 (218 7/8)
b	x (x)									
c	x-79.7 (x-3 1/4)									

$$a'' = ((SS \times 18.134 / 0.98268) - 52.408) \times 1.0 + 74.9$$

$$b = x$$

$$c = x - 79.7$$

Las medidas de instalación y sus métodos de cálculo para cada objetivo se muestran anteriormente.

Las letras alfabéticas de las tablas y los métodos de cálculo indican lo siguiente.

SS : tamaño de pantalla medida diagonalmente (pulgadas)

a'' : distancia desde el orificio de montaje del PSS-610 (frontal), en la superficie inferior del aparato, hasta la pantalla

b : distancia entre el suelo y el centro del objetivo

c : distancia entre el suelo y la base de los ajustadores del proyector

x : libre

N : mínimo

M : máximo

Die Installationsabmessungen und das jeweilige Berechnungsverfahren für die einzelnen Objektive sind oben angegeben.

Die Buchstaben in den Tabellen und den Berechnungsverfahren haben folgende Bedeutung:

SS : Projektionsschirmgröße in Zoll, diagonal gemessen

a'' : Abstand vom Montageloch des PSS-610 (vorn) an der Unterseite des Gerätes zur Leinwand

b : Abstand zwischen dem Boden und der Mitte des Objektivs

c : Abstand zwischen dem Boden und der Unterseite der Ausgleichsfüße des Projektors

x : frei

N : Mindestens

M : Höchstens

Le misure di installazione e il loro metodo di calcolo per ogni obiettivo sono mostrati qui sopra.

Le lettere nei diagrammi e i metodi di calcolo indicano quanto segue.

SS : dimensione schermo misurata diagonalmente (pollici)

a'' : distanza dal foro di montaggio (anteriore) del PSS-610 sul fondo dell'apparecchiatura allo schermo

b : distanza tra il pavimento e il centro dell'obiettivo

c : distanza fra il pavimento e la base dei dispositivi di regolazione del proiettore

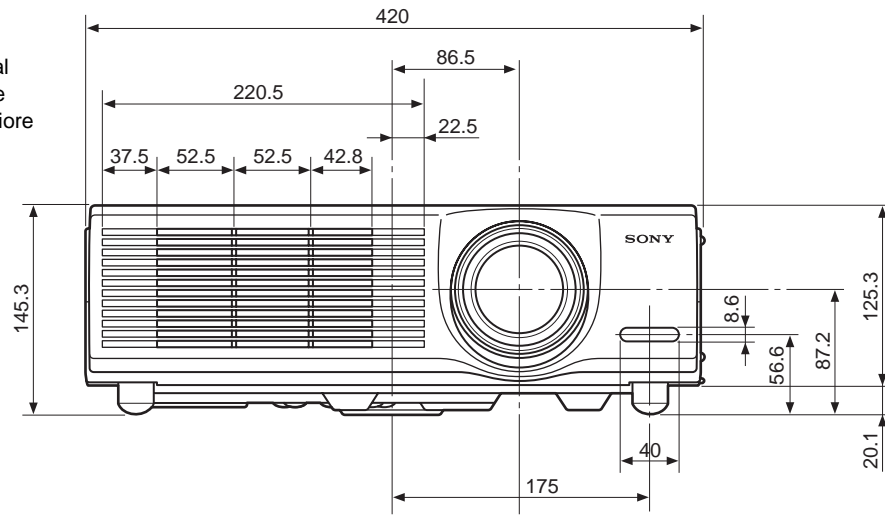
x : libero

N : Minima

M : Massima

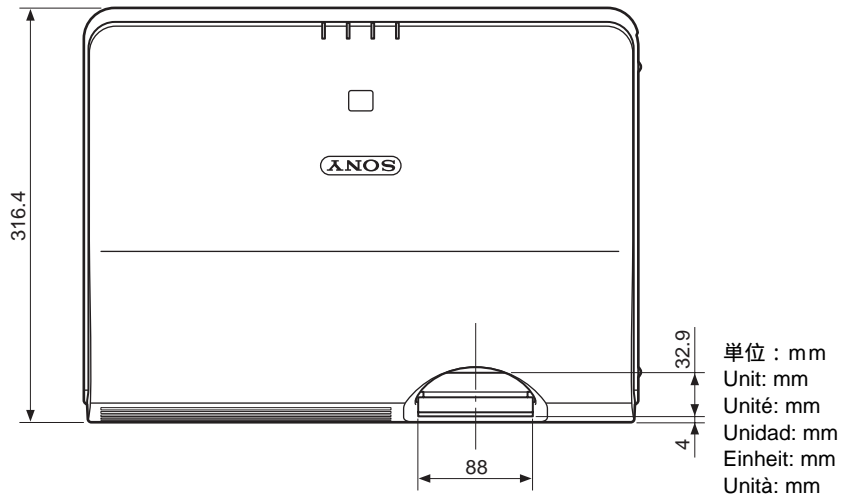
寸法図 / Dimensions / Dimensions / Dimensiones / Abmessungen / Dimensioni

前面
Front view
Vue avant
Vista frontal
Vorderseite
Vista anteriore



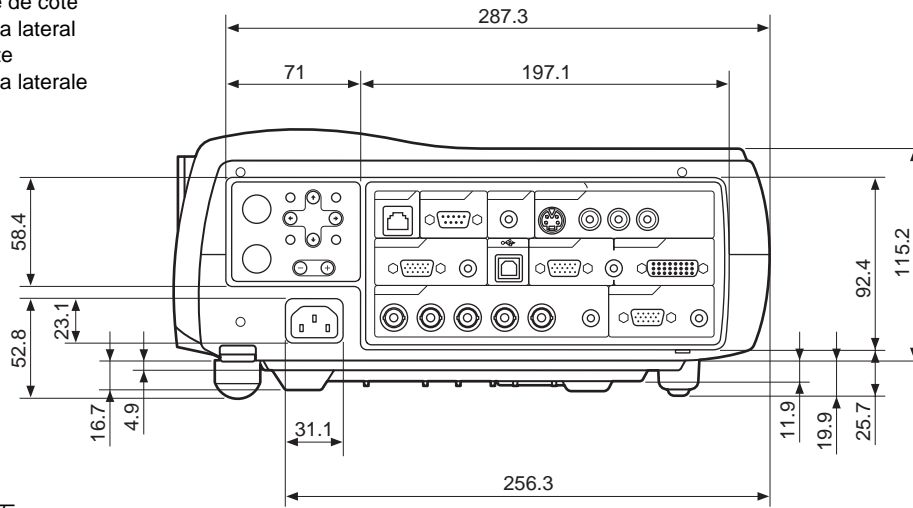
本体中心 Center of unit Centre du projecteur Centro de la unidad Gerätemitte Centro dell'unità	レンズ中心 Center of the lens Centre de l'objectif Centro del objetivo Mitte des Objektivs Centro dell'obiettivo
---	--

上面
Top view
Vue de haut
Vista superior
Oberseite
Vista dall'alto

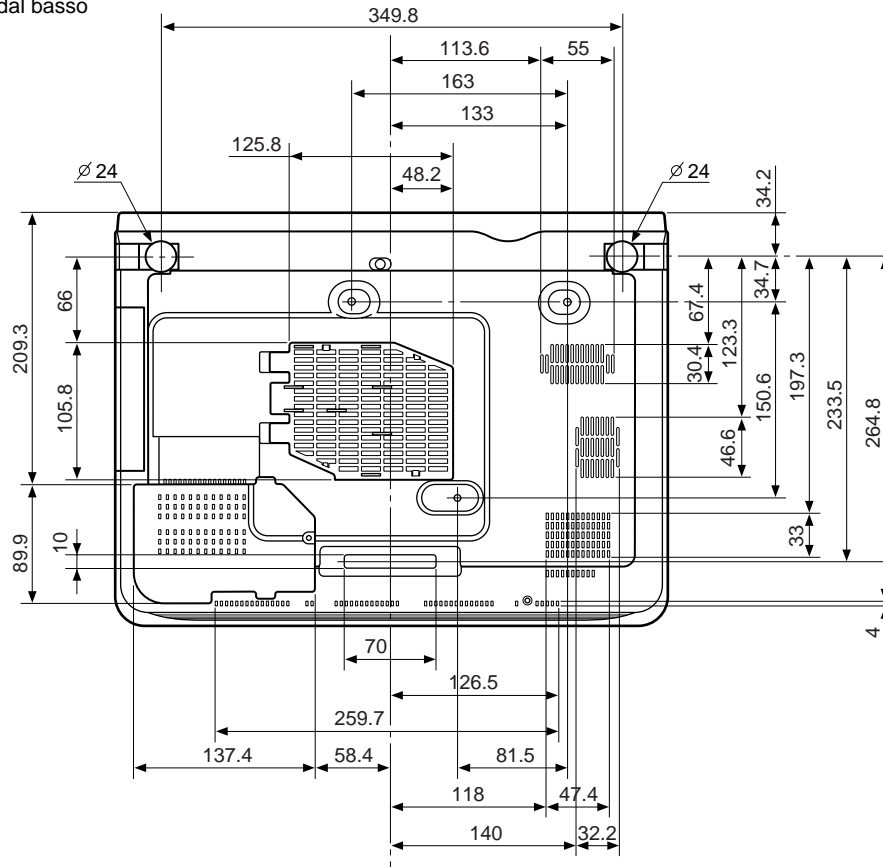


単位 : mm
Unit: mm
Unité: mm
Unidad: mm
Einheit: mm
Unità: mm

側面
Side view
Vue de côté
Vista lateral
Seite
Vista laterale



底面
Bottom view
Vue de dessous
Vista inferior
Unterseite
Vista dal basso

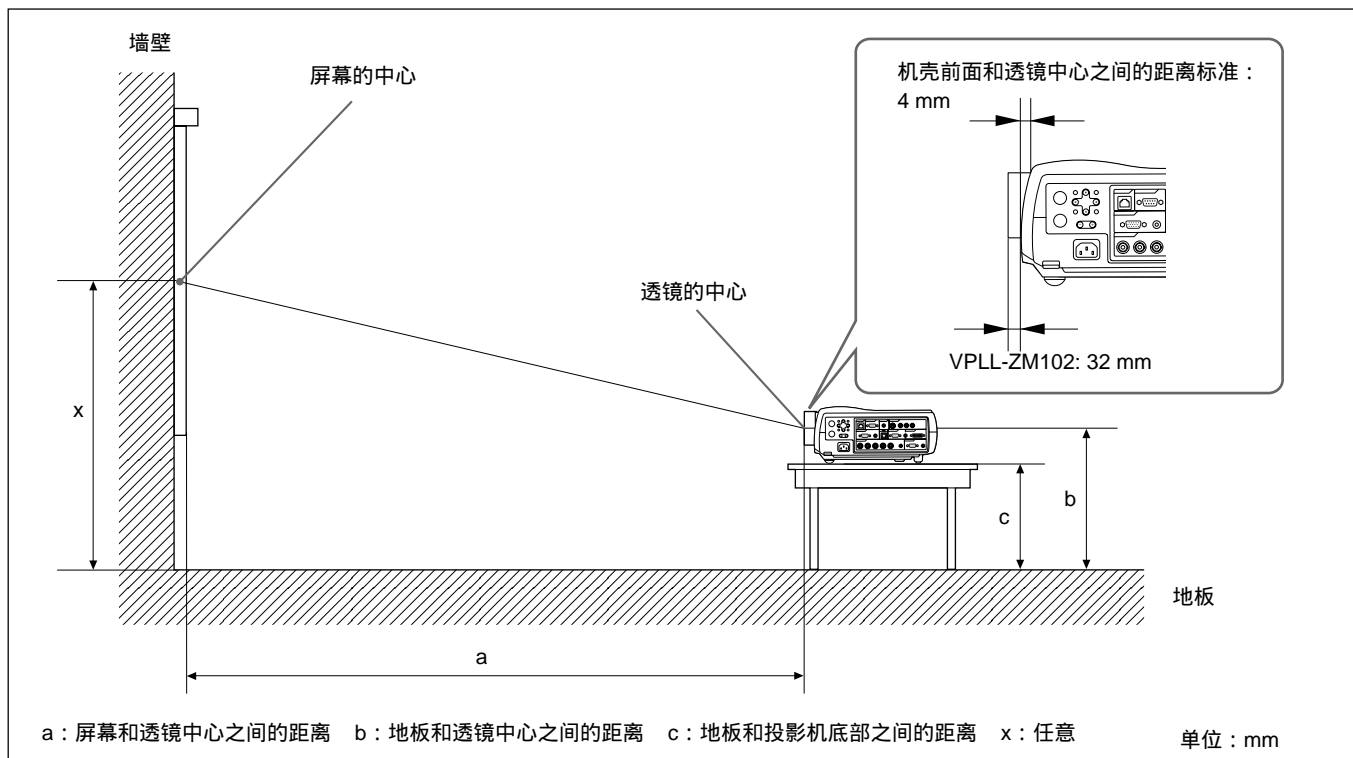


本体中心
Center of unit
Centre du projecteur
Centro de la unidad
Gerätemitte
Centro dell'unità

單位：mm
Unit: mm
Unité: mm
Unidad: mm
Einheit: mm
Unità: mm

安装图

落地安装（前投影）



使用标准透镜时

屏幕尺寸 (英寸)		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	最小	1490	2270	3040	3820	4590	5750	6920	7690	9630	11570
	最大	1890	2860	3830	4800	5770	7220	8680	9650	12070	14500
b		x-305	x-457	x-610	x-762	x-914	x-1143	x-1372	x-1524	x-1905	x-2286
c		x-392	x-544	x-697	x-849	x-1002	x-1230	x-1459	x-1611	x-1992	x-2373

计算方法 (单位: mm)

$$a(\text{最小}) = \{(SS \times 37.138 / 0.98268) - 54.422\} \times 1.025$$

$$a(\text{最大}) = \{(SS \times 48.889 / 0.98268) - 53.731\} \times 0.975$$

$$b = x - (SS / 0.98268 \times 7.488)$$

$$c = x - (SS / 0.98268 \times 7.488 + 87.2)$$

使用VPLL-ZM102长焦距变焦透镜时

屏幕尺寸 (英寸)		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	最小	2610	4000	5390	6790	8180	10270	12360	13750	17230	20710
	最大	3920	5970	8010	10060	12100	15170	18230	20270	25380	30490
b		x-305	x-457	x-610	x-762	x-914	x-1143	x-1372	x-1524	x-1905	x-2286
c		x-392	x-544	x-697	x-849	x-1002	x-1230	x-1459	x-1611	x-1992	x-2373

计算方法 (单位: mm)

$$a(\text{最小}) = \{(SS \times 67.077 / 0.98268) - 172.01\} \times 1.02$$

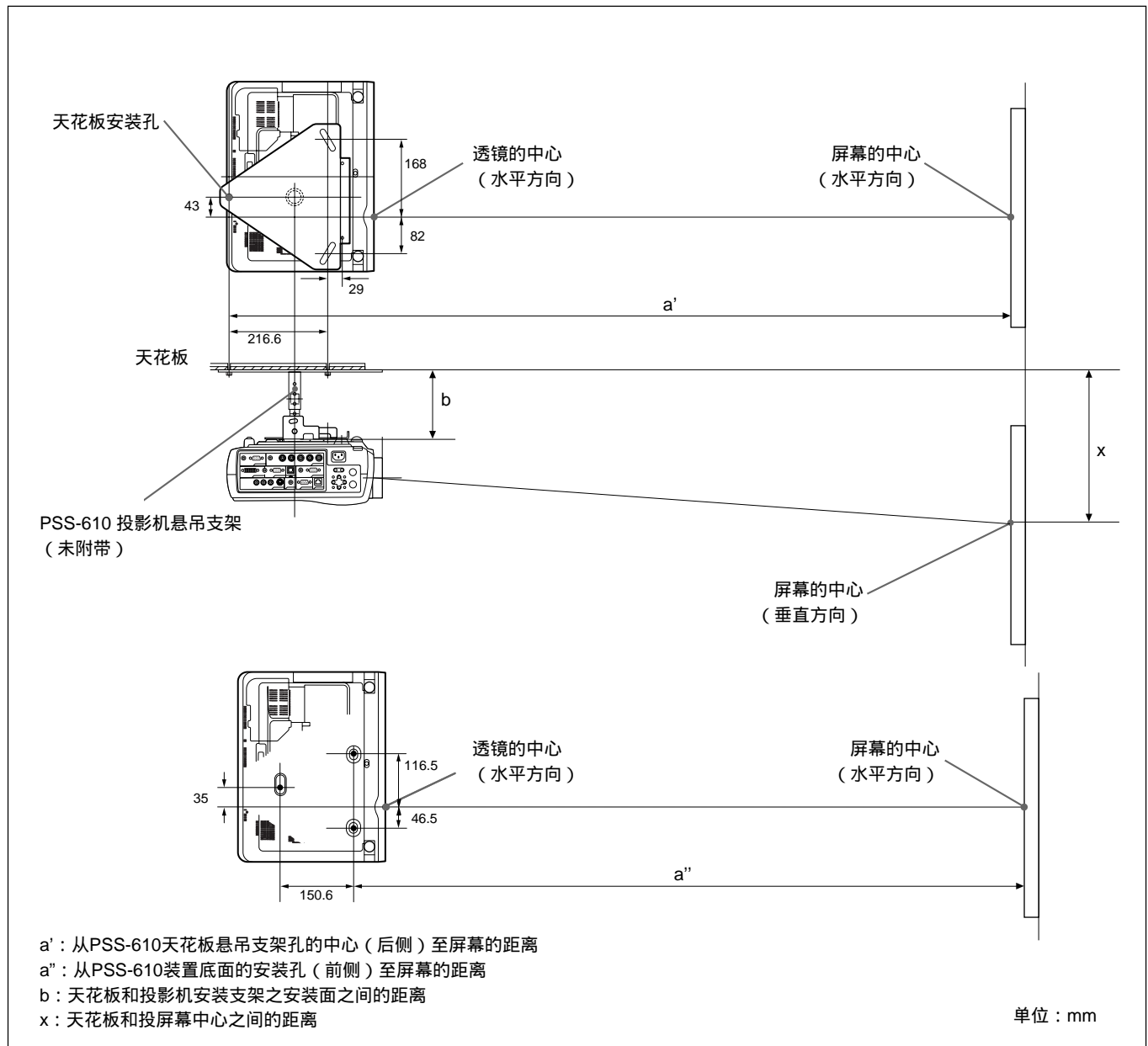
$$a(\text{最大}) = \{(SS \times 102.47 / 0.98268) - 166.84\} \times 0.98$$

$$b = x - (SS / 0.98268 \times 7.488)$$

$$c = x - (SS / 0.98268 \times 7.488 + 87.2)$$

悬吊安装（前投影）

将投影机安装到天花板上时，请使用 PSS-610 投影机悬吊支架。



使用标准透镜时

当使用PSS-610 时

屏幕尺寸 (英寸)		80	100	120	150	180	200	250	300
a'	最小	3350	4130	4900	6070	7230	8000	9940	11880
	最大	4140	5110	6080	7530	8990	9960	12380	14810
x		b+693	b+846	b+998	b+1227	b+1455	b+1608	b+1989	b+2370
b		如果未使用 PSS-610 设备, 您可以将其设定为任意希望值。 使用调节管(b) : 150/175/200 mm 使用调节管(c) : 250/275/300 mm							

当使用PSS-610 以外时

屏幕尺寸 (英寸)		80	100	120	150	180	200	250	300
a''	最小	3110	3880	4660	5820	6980	7760	9690	11630
	最大	3890	4860	5830	7290	8740	9710	12140	14560
x		b+693	b+846	b+998	b+1227	b+1455	b+1608	b+1989	b+2370
b		如果未使用 PSS-610 设备, 您可以将其设定为任意希望值。 使用调节管(b) : 150/175/200 mm 使用调节管(c) : 250/275/300 mm							

计算方法 (单位: mm)

$$a(\text{最小}) = \{(SS \times 37.138/0.98268) - 54.422\} \times 1.025 \quad a' = a + 93.9 + 216.6 = a + 310.5$$

$$a(\text{最大}) = \{(SS \times 48.889/0.98268) - 53.731\} \times 0.975 \quad a'' = a + 64.9$$

$$x = b + (SS/0.98268 \times 7.488) + 83.8$$

使用VPLL-ZM102长焦距变焦透镜时

当使用PSS-610 时

屏幕尺寸 (英寸)		80	100	120	150	180	200	250	300
a'	最小	5740	7130	8530	10610	12700	14100	17580	21060
	最大	8360	10400	12450	15510	18580	20620	25730	30840
x		b+693	b+846	b+998	b+1227	b+1455	b+1608	b+1989	b+2370
b		如果未使用 PSS-610 设备, 您可以将其设定为任意希望值。 使用调节管(b) : 150/175/200 mm 使用调节管(c) : 250/275/300 mm							

当使用PSS-610 以外时

屏幕尺寸 (英寸)		80	100	120	150	180	200	250	300
a''	最小	5500	6890	8280	10370	12460	13850	17330	20810
	最大	8110	10160	12200	15270	18330	20380	25490	30590
x		b+693	b+846	b+998	b+1227	b+1455	b+1608	b+1989	b+2370
b		如果未使用 PSS-610 设备, 您可以将其设定为任意希望值。 使用调节管(b) : 150/175/200 mm 使用调节管(c) : 250/275/300 mm							

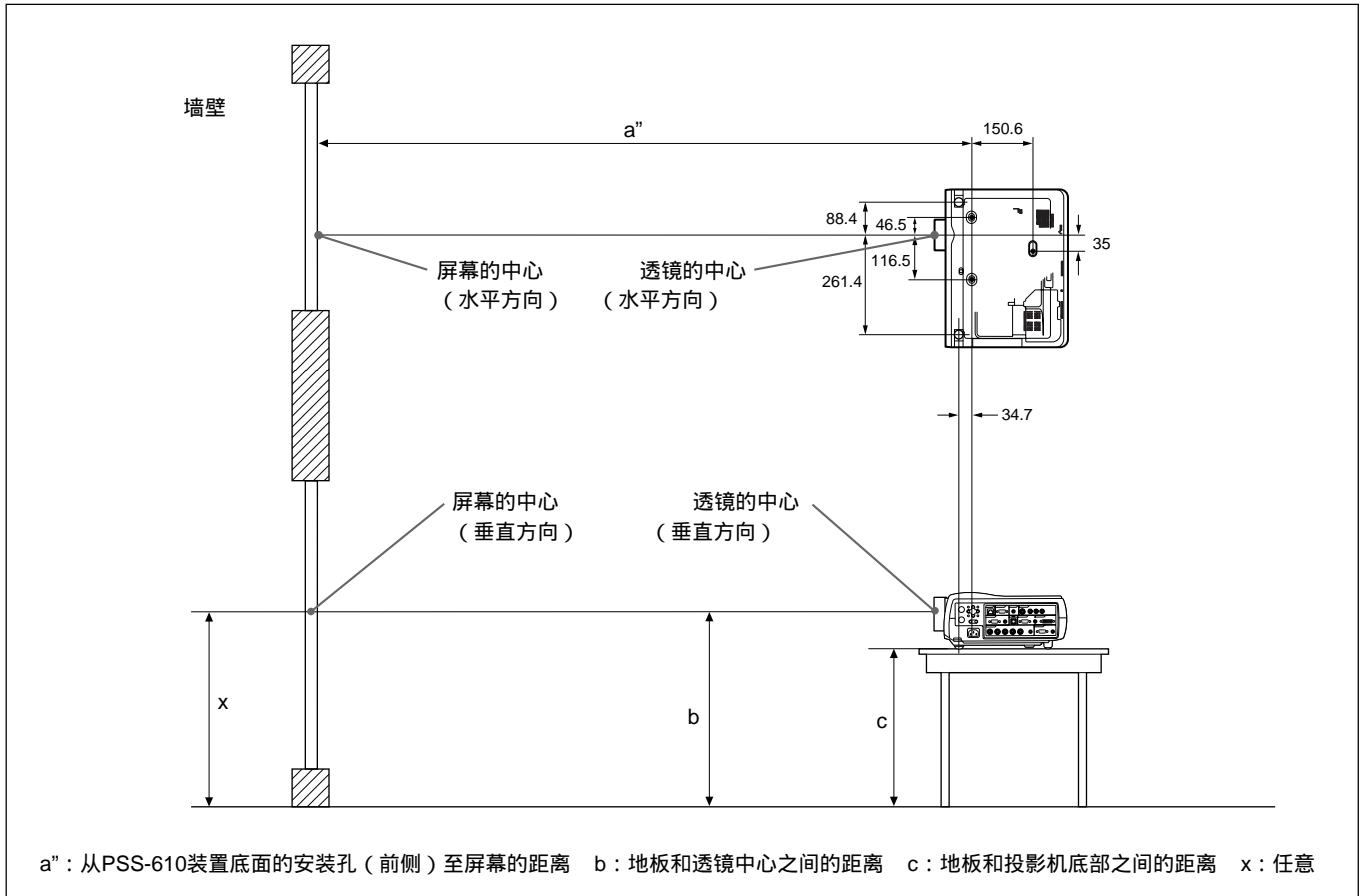
计算方法 (单位: mm)

$$a(\text{最小}) = \{(SS \times 67.077/0.98268) - 172.01\} \times 1.02 \quad a' = a + 129.9 + 216.6 = a + 346.5$$

$$a(\text{最大}) = \{(SS \times 102.47/0.98268) - 166.84\} \times 0.98 \quad a'' = a + 100.9$$

$$x = b + (SS/0.98268 \times 7.488) + 83.8$$

落地安装（后投影：光轴角 0 度）



注意

如果投影机在出厂时已设定好，且从后面投影图像，图像可能会上下颠倒。若使用镜子，图像可能会反转。这时，请改变安装设定项目单中的翻转图像项目。

有关详情，请参阅液晶数据液晶投影机使用说明书中的“安装”一节。

使用标准透镜时

屏幕尺寸（英寸）		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a"	最小	1560	2330	3110	3880	4660	5820	6980	7760	9690	11630
	最大	1950	2920	3890	4860	5830	7290	8740	9710	12140	14560
b		x									
c		x-79.7									

计算方法（单位：mm）

$$a'' (\text{最小}) = \{(SS \times 37.138 / 0.98268) - 54.422\} \times 1.025 + 64.9$$

$$a'' (\text{最大}) = \{(SS \times 48.889 / 0.98268) - 53.731\} \times 0.975 + 64.9$$

$$b = x$$

$$c = x - 79.7$$

使用VPLL-ZM102长焦距变焦透镜时

屏幕尺寸 (英寸)		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a"	最小	2710	4100	5500	6890	8280	10370	12460	13850	17330	20810
	最大	4030	6070	8110	10160	12200	15270	18330	20380	25490	30590
b		x									
c		x-79.7									

计算方法 (单位: mm)

$$a'' (\text{最小}) = \{(SS \times 67.077/0.98268) - 172.01\} \times 1.02 + 100.9$$

$$a'' (\text{最大}) = \{(SS \times 102.47/0.98268) - 166.84\} \times 0.98 + 100.9$$

$$b = x$$

$$c = x - 79.7$$

使用VPLL-FM22固定式短焦距透镜时

屏幕尺寸 (英寸)		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a"		760	1130	1500	1870	2240	2790	3340	3710	4640	5560
b		x									
c		x-79.7									

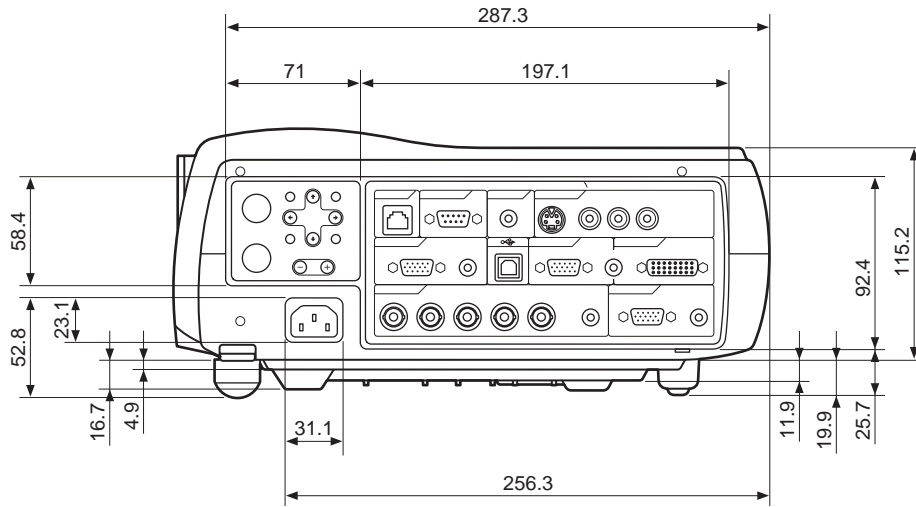
计算方法 (单位: mm)

$$a'' = \{(SS \times 18.134/0.98268) - 52.408\} \times 1.0 + 74.9$$

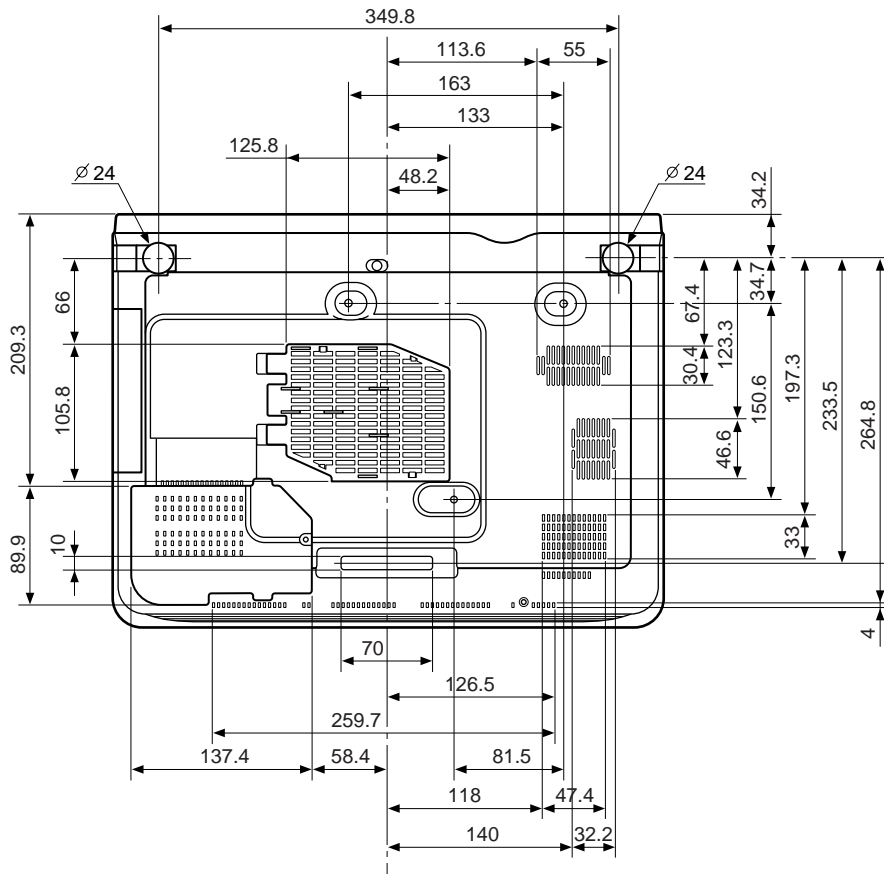
$$b = x$$

$$c = x - 79.7$$

侧视图



底视图



投影机中心

单位：mm

製品ご相談窓口のご案内
[プロジェクターの技術相談窓口]
テクニカルインフォメーションセンター

電話番号： 053-577-3861
(電話のおかけ間違いにご注意ください)
受付時間： 月～金曜日 午前9時～午後8時
土、日、祝日 午前9時～午後5時

製品の品質には万全を期しておりますが、万一本機のご使用中に、正常に動作しないなどの不具合が生じた場合は、上記の「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。

修理に関するご案内をさせていただきます。



この説明書は100%古紙再生紙を使用しています
キャビネットにハロゲン系難燃剤を不使用
はんだ付けに無鉛はんだ使用
包装用緩衝材から発砲スチロールを全廃
Halogenated flame retardants are not used in cabinets.
Lead-free solder is used for soldering.
Polystyrene foam for the packaging cushions is not used in packaging.